令和７年度

相模原市立博物館　年報

相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

令和８年４月１日

令和７年度年報発刊に寄せて

日頃より、ご来館ご観覧ありがとうございます。

年報発刊にあたり令和７年度を振り返ると、主な取組や成果を次のとおり四つ挙げることができます。

第一に、開館以来約３０年にわたって稼働してきたプラネタリムのリニューアルが完了しました。１０億個の星々を映し出す光学式投影機と８Ｋのデジタル式投影機による世界初となるハイブリッドシステムを導入したほか、ドームや座席を含めた全面的な改修を行いました。

第二に、開館３０年を迎えたことを記念し、企画展「相模原市立博物館３０年の歩みを未来へ」をはじめとする様々な事業を展開しました。企画展で設置したメッセージボードには、今後の博物館活動を考える上で有益な、博物館の未来像についての様々なご意見が寄せられました。

第三に、特別企画展「ポケモン天文台」を、国立天文台、ＮＨＫプロモーション、読売新聞との共催により開催しました。同展は全国の博物館などを巡回する形で開催されていますが、本市での開催が全国で初となり、世界中から多くの方々が当館に来館されました。

第四に、常設展示室のリニューアルに向けた「相模原市立博物館常設展示室リニューアル構想」を策定しました。開館以来、大規模な展示替えが行われていない常設展示室について、本構想では、市民協働による研究成果を活かし、市民に親しまれる展示手法を導入するとともに、旧津久井郡四町を含めた相模原市の自然や文化の特徴に加え、他地域との広域的な交流の視点を市民にわかりやすく提供する常設展示を目指すことを示しました。

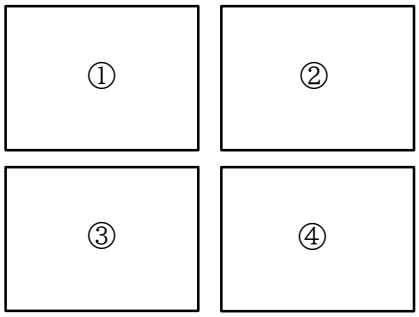
令和７年度は、プラネタリウムのリニューアルや「ポケモン天文台」の開催により、過去最高の入館者数を記録しました。本年報では、以上の成果のほか、様々な取組を報告しています。数字だけがすべてではありませんが、多くのみなさまにご来館いただけるようになったこと、博物館職員一同、大変嬉しく思っています。

これからも、「相模原市立博物館の使命」を果たすべく、調査研究・資料収集・各種普及事業などに取り組むとともに、安心・安全・快適な施設運営に努めてまいります。

令和８年度の、そしてこれからの博物館に、どうぞご期待ください。

令和８年４月　相模原市立博物館長

表紙の写真



① リニューアル後のプラネタリウム
② 特別企画展「ポケモン天文台」のチラシ
③ 「土器×２タッチ」の様子
④ 企画展「相模原市立博物館３０年の歩みを未来へ」の展示解説の様子

目　　次

Ⅰ　相模原市立博物館概要 …… 2
1　設立の経緯
2　設置目的
3　令和７年度 博物館重点目標
4　博物館ネットワークの推進
5　相模原市立博物館活動評価書（抜粋）

Ⅱ　管理運営 …… 6
1　組織と事務分掌
2　博物館協議会
3　施設
4　予算（当初）

Ⅲ　教育普及・学習支援 …… １１
1　入館者数
2　常設展示
3　展示
4　講座・講演会等
5　広報等その他事業
6　プラネタリウム・全天周映画・ミニプラネタリウム
7　広報・出版等
8　博物館学芸員実習
9　団体利用
１０　博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用
１１　相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し
１２　ネットで楽しむ博物館
１３　博物館職員の講師依頼等
１４　ＪＡＸＡとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」
１５　市民との協働

Ⅳ　資料管理 …… ３７
1　博物館収蔵資料点数
2　収集・整理
3　有害生物管理の実施
4　資料の特別利用
5　ＪＡＸＡ宇宙科学研究所からの借用物

Ⅴ　調査研究 …… ４６

Ⅵ　市史関連事業 …… ４７
1　収集・整理事業
2　普及事業

Ⅶ　博物館所管施設 …… ４８
1　尾崎咢堂記念館（緑区又野）
2　吉野宿ふじや（緑区吉野）
3　入館者数一覧

Ⅷ　企画展（特別展示）、プラネタリウム・全天周映画一覧 …… ５１

Ⅸ　企画展（特別展示）ポスター一覧 …… ５２

Ⅹ　博物館略年表 …… ５３

付録　相模原市立博物館条例　　相模原市立博物館条例施行規則
相模原市立尾崎咢堂記念館条例　　相模原市立尾崎咢堂記念館条例施行規則
相模原市吉野宿ふじや管理規程

Ⅰ　相模原市立博物館概要

１　設立の経緯

昭和５３年１２月、郷土懇話会や文化協会ほか８団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係６団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために＝地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和５５年、市の「キャンプ淵野辺留保地整備計画」の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和５６年４月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に６か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。相模原市の公共施設として、初めてプロポーザル方式で設計者を選定し、平成５年に着工した。

平成７年１１月２０日（市制記念日）に開館。開館後は１階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

累計入館者数は、平成３１年３月に３００万人を超え、多くの来館者を迎えてきたが、令和２年から３年にかけての新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数は大幅に減少した。

コロナ禍の収束以降、順調な回復を見せ、令和８年３月には、累計入館者数は約３９０万人に達し、多くの市民の会による活動など、ボランティアによる活動も再び盛んになっている。さらに、学校への出張授業や、市内の小学校が来館して学習するなど、学校への支援・連携も引き続き積極的に取り組んでいる。

２　設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和２６年法律第２８５号）第２条第１項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根３丁目１番１５号に設置する。（市立博物館条例第２条）

当館の特徴…自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（平成７年１１月２０日神奈川第３２号）

３　令和７年度 博物館重点目標

当館は、地域の総合博物館として、「相模原」の自然、文化並びに天文に親しみ、理解を深める場を提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、いきいきとした市民文化の創造に貢献することを目的としています。

そのため、博物館の使命である、郷土の歴史や文化・自然に関する資料の収集・保存に努め、調査・研究をより一層深めるとともに、その活用を図りながら地域文化を継承し発信拠点となるよう取り組みます。また、学校や関係機関等との連携を促進し、主体的に参加する市民を育成し協働を進めながら、市民文化の向上に資する事業の展開、及び「学び」と「活動」の好循環を生み出す取組に努め、更なる相模原の魅力づくりを推進します。

事業の実施に際しては、ＳＤＧｓの推進、共生社会の実現及びシビックプライドの醸成を常に念頭に置きながら、『第二次相模原市教育振興計画』の基本方針に則り、具体的な取組を進めます。

また、令和７年度のリニューアルに向け、プラネタリウム改修についての事務を進めるほか、市建築物の長寿命化計画に基づく当館の改修事業について着実に執行します。

■　重点目標　■

・郷土への理解を深めるため、収蔵資料の更なる活用を通し、魅力ある展示に努めます。
・日ごろの調査研究の成果を生かし、かつ、関係機関や団体、学校等と連携した事業の実施に取り組み、来館者や閲覧者の増加を図るとともに学びの場の提供に努めます。
・ＪＡＸＡ等との連携を強化し、プラネタリウム等の特色を生かした宇宙教育普及事業の充実に取り組みます。
・市民ボランティア等の育成・充実に取り組み、博物館活動への市民の参画を促進するとともに、協働による事業展開を進めます。
・博物館への興味・関心を高めるとともに来館のきっかけとなるよう、多様なメディアを活用し、効果的、魅力的な情報発信に努めます。
・人（来館者・従事者）にもモノ（収蔵品）にも安全で快適な環境維持のため、計画的で適切な施設の管理に努めます。

■　重点施策（取り組むべき事業）■

１　展示・教育普及事業の推進
（１）考古・歴史・民俗・生物・天文・地質等に関する企画展示、講演会等の実施
（２）市民ボランティアとの協働による展示の工夫及び事業の実施
（３）ＪＡＸＡ等との連携を重視した宇宙教育普及事業の実施
（４）尾崎咢堂記念館、吉野宿ふじや情報発信事業の実施
（５）市民ボランティアの育成、充実と主体的な活動の促進

２　積極的な情報発信事業の推進
（１）広報さがみはら、ホームページに加え、ブログ・Ｘ・ＹｏｕＴｕｂｅ、インスタグラム等インターネットを活用した効果的な情報発信の実施
（２）機会を捉えた積極的な情報提供の実施

３　施設及び関連施設の維持管理
（１）計画的な施設維持管理の実施
（２）来館者の安全・安心を最優先した管理運営の実施

４　市史関連事業の推進
（１）市史編さん関連資料類の整理・保存及び普及活動の実施

５　博物館評価の実施
（１）自己評価・利用者意見・博物館協議会委員意見による博物館評価の実施

４　博物館ネットワークの推進

博物館所管施設の尾崎咢堂記念館、吉野宿ふじやにおける地元団体への委託事業のほか、社会教育施設等における出張展示や普及・活用事業への学芸員の派遣など連携・協力・助言を行った。その結果、博物館をコア施設と捉え、社会教育施設全体をネットワークと考える多くの場所での学習機会の提供に寄与することができた。

ア　尾崎咢堂記念館展示・普及事業
…「尾崎行雄を全国に発信する会」へ委託し、次の事業を開催した。
・ミニ企画展「選挙と尾崎行雄（咢堂）」
・近・現代史講演会「シドモア女史とワシントンの桜」

イ　吉野宿ふじや展示・普及事業
…「ＮＰＯ法人ふじの里山くらぶ」へ委託し、「甲州道中おひな様」展を開催した。
ウ　生涯学習部内の連携
…市内の生涯学習施設として相互ＰＲを行うため、図書館で出張ミニ展示を開催したほか、図書館、中央区役所とＳＮＳの相互フォローをするなど連携を図った。
エ　ＪＡＸＡ相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟出張展示（詳細は３６頁Ⅲ１４参照）
…博物館とＪＡＸＡの連携のひとつとして、ＪＡＸＡ相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟の博物館紹介コーナーに出張展示を行った。

５　相模原市立博物館活動評価書（抜粋）

Ⅰ　相模原市立博物館活動評価の総括
（評価期間：令和６年度）

○　平成２０年６月に「博物館法」が改正され、博物館の運営状況の評価やその情報の提供等を行うこととされた。このため当館では、当館の使命等に基づき、定量評価及び定性評価の手法で、博物館協議会による有識者評価を経て、平成２３年度から令和元年度までは３年ごと、令和２・３年度は２年間の、令和４年からは単年度で評価を行っている。令和４年度に引き続き、第７回目となる令和６年度の活動について評価を行った。

【当館の使命】
○　地域の歴史や文化・自然に関する資料を調査研究し、また、収集した資料を適切に保存し蓄積するとともに、その活用を図りながら地域文化を継承・発信する拠点となること。
○　主体的に参加した市民と協働し、あるいは地域の諸機関と広く連携していく体制を整え、市民文化の向上に資する活動を積極的に展開すること。
【評価項目】
１　博物館の基礎的な機能を果たすための必要な活動
２　市民との協働による博物館活動の展開
３　多様な主体との連携

令和６年度における活動評価全体総括
博物館の運営の基盤となる調査・研究、資料の収集、保管、展示および教育普及事業を外部機関や市民協働により遂行したことが評価された。また、多様な主体と連携して様々な事業を展開したことも評価された。
具体的には、市民との共同調査や大学などの研究機関との共同研究、市民協働による資料収集・整理・ワークショップの実施や「学びの収穫祭」での市民活動の成果発表、講師派遣や職業体験の受け入れなどが評価された。さらに、学芸員が、専門家としての役割を十分果たせるための環境整備を求められた。
課題としては、収蔵庫の増設、効果的な情報発信、学校とのさらなる連携強化が挙げられた。

【定量評価】
○　入館者数・プラネタリウム観覧者数・企画展観覧者数などは、プラネタリウムの更新工事に伴う約４か月間の休映期間の影響で、休館期間のなかった令和４年度に比べるとプラネタリウムと企画展観覧者数は減少しているが、さよならプラネタリウム企画など入館者数は増加している。講座参加者･講演回数はコロナ禍前と同程度の回数となっている。学芸員の講師派遣回数は過去５年間で最高であった昨年度と同水準であった。市民の会の延べ参加者数は活動の活性化に加え、新たな会も発足したため、総数・参加率ともに伸び、市民の学習機会の場を広く提供し、生涯学習機関としての博物館として役割を果たすことができた。

【定性評価】

1　博物館の基礎的な機能を果たすための必要な活動では、「調査研究及び資料収集と活用」、「展示教育普及事業の実施」、「宇宙教育普及事業の実施」、「施設・環境の維持管理」について評価を行った。

有識者からは、厳しい予算状況の中で、市民との共同調査や外部との連携研究を積極的に行い、その調査・研究成果もしっかりと報告されていることや、資料の収集、保管という博物館の役割を果たしていることが高く評価された。また、企画展やミニ展示、講座・講演会・体験学習・観察会、ミニプラネタリウムなど様々な事業を展開していることが評価された。さらに、限られた予算の中で、計画的に施設・設備の整備修繕などがなされていることも評価された。一方で、学芸員が他機関との共同研究ならびに学会への参加や研究報告を積極的にできる環境整備を求められた。課題としては、収蔵資料のデータベース化、収蔵庫の増設、ホームページやＳＮＳを活用した情報発信方法の再検討が挙げられた。

2　市民との協働による博物館活動の展開では、「市民協働による調査研究・資料収集活動」、「市民協働による展示教育普及事業」について評価を行った。

市民協働による資料収集・整理・企画準備・ワークショップの実施や「学びの収穫祭」における市民活動の成果発表が評価された。一方で、今後も継続して事業を実施することが求められた。

課題としては、個人利用者との協働や市民と研究者との交流機会の提供が挙げられた。

3　多様な主体との連携では、「他機関・団体との連携」、「学校等への学習支援」について評価を行った。

幅広い機関・団体への講師派遣、展示、連携事業、職業体験、博物館実習生の受け入れ等が積極的に行われていることが評価された。一方で、学芸員が、専門家としての役割を十分果たせる体制づくりが求められた。また、さらなる連携強化が期待されている。

課題としては、貸出キットの広報方法や学校以外の貸し出しの検討、不登校の児童生徒への対応が挙げられた。

【今後の方向性】

博物館の使命を果たすべく、今後とも市民の生涯学習活動に資するべく博物館の基礎的な調査研究・資料収集・教育普及事業を推進する。関連する諸機関との連携を深化し、地域博物館として市民と共に種々の課題を克服しながら、より安心・安全・快適な施設運営に努めていく。

Ⅱ　管理運営

1　組織と事務分掌

令和８年３月３１日現在

館　長（１）

企画情報班（６）
事務職員　３名
学芸員専門職　１名
再任用短時間勤務職員　２名

・博物館運営の調査研究に関すること。
・博物館の利用承認等利用に関すること。
・博物館の維持管理及び秩序保持に関すること。
・所管施設の維持、補修に関すること。

学芸班（８）　学芸員　８名
専門職　６名
発令職　２名

・博物館資料の収集、整理、保管、展示及び調査研究に関すること。
・博物館資料の利用に関する説明、指導及び助言に関すること。
・博物館の各種事業の実施に関すること。
・他の博物館との連絡、協力、情報の交換及び博物館資料の相互貸借に関すること。
・図書館その他教育、学術又は文化に関する諸施設との協力及びその活動の援助に関すること。
・市史に関する収集資料の目録作成・データベース化及び利活用に関すること。
・市史普及事業に関すること。

相模原市立博物館協議会（１０）

・会計年度任用短時間勤務職員
博物館学習指導員（１）
市史資料調査員（３）
事務補助員（収蔵品整理）（３）
事務補助員（尾崎咢堂記念館施設管理業務）（３）
事務補助員（吉野宿ふじや施設管理業務）（２）
事務補助員（２）

２　博物館協議会

（１）趣　旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

（２）委員構成　　任期２年

第１５期　令和５年１１月２０日～令和７年１１月１９日　　◎会長　○副会長

	氏　　名	備　　考	選出区分
	大貫　努	小学校校長	学校教育
	五十里　雅子（～R6.3.31） 佐藤　和彦　（R6.4.1～）	高等学校校長	
	大貫　英明	市文化財研究協議会会長	社会教育
	大谷　春枝	市ＰＴＡ連絡協議会書記	
○	吉川　恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	家庭教育
◎	岩野　秀俊	元日本大学生物資源科学部教授	学識経験者
	浜田　弘明	桜美林大学教授	
	藤本　正樹（～R7.5.31） 津田　祐一（R7.6.1～）	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	
	関　明	市民公募	市の住民
	根岸　恵		

第１６期　令和７年１１月２０日～令和９年１１月１９日　　◎会長　○副会長

	氏　　名	備　　考	選出区分
	島﨑　貞良	小学校校長	学校教育
	佐藤　和彦（～R8.3.31）	高等学校校長	
	大貫　英明	市文化財研究協議会会長	社会教育
○	大谷　春枝	市ＰＴＡ連絡協議会副会長	
	宍戸　佳子	市女性学習グループ連絡協議会会計	家庭教育
◎	岩野　秀俊	元日本大学生物資源科学部教授	学識経験者
	浜田　弘明	桜美林大学教授	
	津田　雄一	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	
	戸塚　芳男	市民公募	市の住民
	高原　なな𡚁		

（３）活動状況

回	開　催　日	お　も　な　内　容
第１５期 ５	令和７年９月３日(水)	・相模原市立博物館活動評価（案）について ・常設展示室のリニューアルについて ・その他
第１５期 ６	令和７年１０月２８日(火)	・相模原市立博物館活動評価（案）について ・常設展示室リニューアルの構想案について ・その他

第１６期 １	令和８年１月１６日(金)	・会長及び副会長の選出 ・相模原市立博物館協議会の概要、活動内容について ・相模原市立博物館活動評価書について ・常設展示室リニューアルの構想案について

３ 施 設

（１）施設概要

ア 敷地面積　　９，９９９．４８㎡
イ 構　　造　　鉄筋コンクリート造一部鉄骨
　　鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規　　模　　地下１階・地上３階建て
エ 建築面積　　５，０８１．０３㎡
オ 延床面積　　９，５１０．２４㎡
カ 休 館 日　　月曜日（休日に当たる日を除く）
　　休日の翌日（休日・日曜・土曜に当たる日を除く）
キ 開館時間　　午前９時３０分～午後５時

	用 途・ 面 積	主 な 室	内　　容
展示・教育	展示スペース（１，９０７㎡）	自然・歴史展示室（１，１７０㎡）	「川と台地と人々のくらし」をテーマに５つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分りやすい展示がされている。
		天文展示室（１２７㎡）	「宇宙とつながる」をテーマに、ＪＡＸＡから借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近な資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室（４８７㎡）	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース（４５３㎡）	実習実験室（９０㎡）	各種講座・観察会等を開催　６卓　４８席
		情報ｻｰﾋﾞｽｺｰﾅｰ（１２７㎡）	郷土の自然や歴史に関する参考図書等を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室（２３７㎡）	各種講座・講演会等を開催　椅子席で２００人収容
	プラネタリウム（６４８㎡）	プラネタリウム（６４８㎡）	室内に１８０席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径２３ｍのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。
保管・研究	研究スペース（１，０３８㎡）	市民研究室（２９４㎡）	自然と歴史分野の研究室が２階にあり、天文分野の研究室が１階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室（７４㎡）	口径４０ｃｍの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース（１，５７０㎡）	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。
管理・共用	管理・共用スペース（３，８９４㎡）	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	１階休憩コーナーや軽食のとれる２階喫茶コーナー、市史や図録の他博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

（２）設備改修工事（１，０００万円以上）

・エレベーター１号機更新工事（令和７年度分）

工　　期　　令和７年４月１日～１８日

・プラネタリウム更新業務委託（令和７年度分）

工　　期　　令和７年４月１日～６月３０日

・１階受付前・地下１階トイレ洋式化修繕

工　　期　　令和７年６月１０日～８月１９日

（３）施設管理業務委託（委託料年間１，０００万円以上）

・総合管理業務委託　　㈱オーチュー　相模原支店

委託期間　　令和６年６月１日～令和９年５月３１日

・受付案内業務委託　　㈱ギオン

委託期間　　令和５年６月１日～令和８年５月３１日

・プラネタリウム操作等業務委託　　㈱東急コミュニティー

委託期間　　令和７年４月１日～９月３０日

・プラネタリウム投影等業務委託　　㈱東急コミュニティー

委託期間　　令和７年１０月１日～令和１０年９月３０日

（４）消防訓練

第１回　令和７年１０月２５日（土）／第２回　令和８年２月４日（水）

４　予　算（当初）

（単位：千円）

款	項	目	科目名	７年度予算額	８年度予算額	財源内訳	７年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	100	100	一般財源 特定財源	100 0
50	20	45	博物館費	636,736	462,909	一般財源 特定財源	202,419 434,317
			計	636,836	463,009		636,836

博物館費

節		説　　明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
０１報酬	265	経費内訳	７年度	８年度
０７報償費	1,796	１博物館協議会経費	290	270
０８旅費	193	２施設運営費	348,425	67,363
１０需用費	99,856	（１）資料収集保存経費	3,405	22,973
１１役務費	828	（２）資料調査研究経費	924	924
１２委託料	476,347	（３）展示・教育普及事業経費	10,209	5,960
１３使用料及び賃借料	6,222	（４）プラネタリウム事業経費	19,578	2,061
１４工事請負費	50,919	（５）プラネタリウム事業経費（債務負担行為）	296,500	－
１７備品購入費	150			
１８負担金、補助及び交付金	100	（６）プラネタリウム操作等委託（債務負担行為）	17,447	34,893
合計	636,736	（７）その他運営費	362	552
		３施設維持管理費	225,040	330,388
		４博物館施設整備事業費	10,416	63,184
		５博物館施設整備事業費(継続費)	50,919	－
		６市史関連事業	13	13
		７一般事務費	1,633	1,691
		合計	636,736	462,909

Ⅲ　教育普及・学習支援

１　入館者数

（１）令和７年度計　　２７１，３８５人

（２）総　　計　　３，８９９，０４８人

（３）詳　　細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳				特別展	星　空観望会	講演会講座等	企画展関連事業	おためしタイム	観覧料	開館日数	1日平均
			一般投影	全天周映　画	貸切投影	多目的利用								
４月	7,195	0	0	0	0	0	2,344	0	287	43	0	¥0	25	288
５月	9,478	0	0	0	0	0	6,723	0	715	52	0	¥0	27	351
６月	8,686	0	0	0	0	0	6,167	0	555	58	0	¥0	23	378
７月	18,015	8,154	5,033	3,121	0	0	7,568	0	922	44	0	¥2,940,010	27	667
８月	38,641	19,749	12,268	7,481	0	0	18,408	0	765	74	0	¥5,759,950	28	1,380
９月	16,974	10,043	5,829	3,309	905	0	8,170	0	230	0	0	¥2,856,590	24	707
１０月	20,797	8,194	3,496	2,183	1,902	613	0	78	1,405	0	0	¥1,976,260	27	770
１１月	50,463	11,608	5,364	3,769	2,424	51	32,636	501	931	0	0	¥2,968,650	26	1,941
１２月	48,850	10,035	5,891	3,042	1,006	96	39,019	91	52	0	0	¥2,896,550	24	2,035
１月	30,431	9,321	4,841	2,603	1,681	196	18,542	173	305	0	0	¥2,300,540	24	1,268
２月	9,214	5,133	2,847	1,370	629	287	5,824	159	249	61	0	¥1,427,050	21	439
３月	12,641	6,480	3,629	1,884	485	482	505	175	142	0	0	¥1,549,210	26	486
7年度計	271,385	88,717	49,198	28,762	9,032	1,725	145,906	1,177	6,558	332	0	¥24,674,810	302	899

※令和７年４月１日（火）～７月１５日（火）までプラネタリウムは改修のため休止

（参考）開館からの総計

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳				特別展	星　空観望会	講演会講座等	企画展関連事業	おためしタイム	観覧料	開館日数	1日平均
			一般投影	全天周映　画	貸切投影	多目的利用								
平成７年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778		22,199	618	836			¥11,099,520	107	733
８年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603		36,682	1,237	3,186			¥18,187,120	300	419
９年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646		28,388	1,104	3,167			¥12,233,880	300	353
１０年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714		24,779	624	5,696			¥12,820,900	299	359
１１年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250		36,670	665	5,255			¥15,325,720	295	390
１２年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800		31,658	634	5,258			¥11,921,600	302	368
１３年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581		57,647	910	4,574			¥14,329,780	305	435
１４年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812		55,672	925	4,277			¥12,221,160	303	393
１５年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111		51,538	1,133	6,873			¥13,904,050	302	418
１６年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086		39,551	1,050	5,148			¥11,562,090	300	372
１７年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839		47,479	844	5,725			¥12,776,280	301	387
１８年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649		49,588	773	6,896			¥14,321,720	303	375
１９年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746		58,218	925	8,245			¥13,369,000	304	403
２０年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665		58,436	1,294	11,517			¥13,831,800	303	423
２１年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973		64,653	1,846	9,681			¥13,679,160	303	449
２２年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466		103,988	1,861	6,249			¥25,095,880	301	608
２３年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662		70,716	1,283	9,438			¥17,780,860	306	450
２４年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635		68,305	2,228	9,100			¥15,274,420	307	452
２５年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847		76,722	2,369	10,114			¥15,334,880	306	453
２６年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232		66,370	1,998	11,344			¥13,971,950	303	418
２７年度	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884		71,865	1,685	10,114			¥14,303,490	304	435
２８年度	125,194	54,814	26,506	17,075	11,233		68,283	1,615	12,167			¥14,568,880	303	413
２９年度	137,996	59,245	24,038	23,530	11,677		72,876	1,588	16,941			¥15,673,280	304	454
３０年度	136,450	56,530	27,025	18,639	10,866		73,069	1,681	11,841			¥14,551,270	304	449
令和元年度	138,573	55,195	22,585	21,901	10,709		78,289	1,343	8,962	2,594	3,342	¥13,999,290	278	498
２年度	49,770	14,323	6,816	5,942	1,565		15,275	0	1,542	0	18	¥4,433,660	195	255
３年度	83,550	25,700	12,295	8,383	5,022		47,727	15	5,667	3,045	1,969	¥7,478,550	256	326
４年度	123,193	48,147	22,154	14,738	11,255		63,194	461	3,685	1,285	2,664	¥12,839,320	304	405
５年度	102,585	42,313	21,286	13,057	7,970		47,606	1,013	5,462	1,171	2,020	¥10,774,760	237	433
６年度	124,238	44,294	16,002	18,782	9,510		57,874	906	8,268	1,491	1,984	¥9,144,410	305	407
７年度	271,385	88,717	49,198	28,762	9,032	1,725	145,906	1,177	6,558	332	0	¥24,674,810	302	899
総　計	3,899,048	1,597,045	662,052	618,450	314,818	1,725	1,791,223	35,805	223,786	9,918	11,997	¥431,483,490	8,942	436

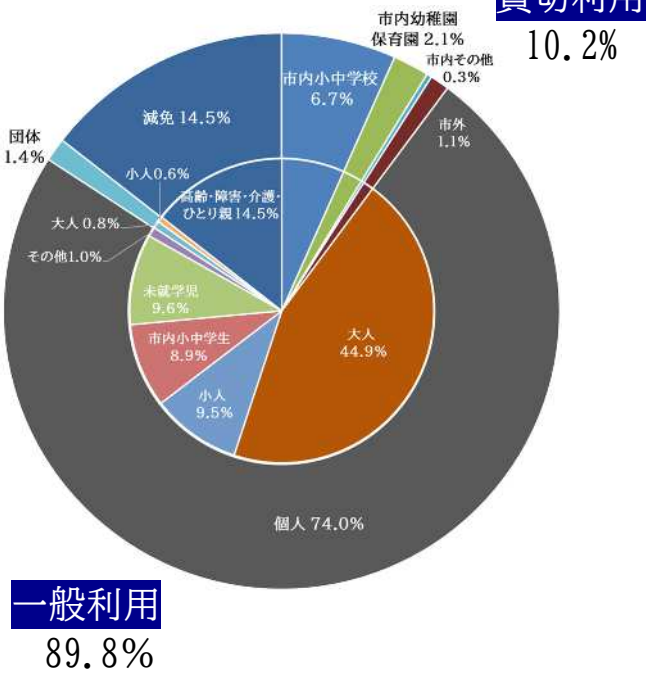
※１　令和元年東日本台風のため、令和元年１０月１２日（土）～１３日（日）午後１時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和２年３月２日（月）～３１日（火）休館

※２　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和２年４月１日（水）～６月８日（月）及び令和３年１月１３日（水）～３月２１日（日）休館（「はやぶさ２」帰還カプセル世界初公開展示期間（３月１２日（金）～３月１６日（火））は往復はがきでの抽選による当選者にのみ公開）及び令和２年４月１日（水）～６月１８日（木）プラネタリウム休止

※３　緊急事態宣言の発令に伴い、令和３年８月６日（金）～９月３０日（木）休館

※４　設備改修工事のため、令和５年１２月１日（金）～令和６年２月２９日（木）休館

プラネタリウム利用者内訳



貸切利用	市内小中学校	大人	498	9,032
		小人	5,417	
	市内幼稚園保育園	大人	220	
		未就学児	1,641	
	市内その他	大人	9	
		小人	0	
		減免(高齢・障害・介護)	254	
	市外	大人	117	
		小人	461	
		未就学児	233	
		減免(高齢・障害・介護)	182	
一般利用	個人	大人	39,834	79,685
		小人	8,446	
		市内小中学生	7,928	
		未就学児	8,559	
		その他	894	
	団体	大人	674	
		小人	529	
	減免	高齢・障害・介護・ひとり親	12,821	

2　常設展示

常設展示は、「自然・歴史展示室」と「天文展示室」の２分野からなる。

「自然・歴史展示室」は、「川と台地と人々のくらし」を全体テーマとし、「台地の生い立ち」、「郷土の歴史」（令和５年３月に郷土の偉人 尾崎行雄（咢堂）に関するミニコーナーを設置）、「くらしの姿」、「人と自然のかかわり」、「地域の変貌」の５つのテーマに分けられている。相模原の自然・歴史について実物資料、レプリカ、映像、解説パネルなどにより学ぶことができる。

「天文展示室」は、「宇宙とつながる」をテーマに、宇宙の映像や隕石資料、太陽のライブ映像、ＪＡＸＡとの連携展示などを通して、宇宙と自分をつなげて考える場を提供している。

3 展示

（1）企画展（特別展示）（全５件）

	事業名	会期・実施日	来場者	内容・備考
1	天文企画展「プラネタリウムの歴史」	４/１５(火)～ ６/２９(日)	１５，２３４人	誕生から１００周年を迎えたプラネタリウムの歴史や、様々な投影器機とその仕組みを紹介
（1）	ギャラリートーク「プラネタリウムの仕組み」	４/１９(土) ５/１８(日) ６/２１(土)	４３人 ５２人 ５８人	講師(株)五藤光学研究所 技術者
2	開館３０周年記念企画展「相模原市立博物館３０年の歩みを未来へ」	７/１２(土)～ ９/２８(日)	３４，１４６人	開館３０年の歩みを振り返り、当館がこれまでに収集した資料の数々や、実施した活動を紹介。
（1）	展示解説	７/１２(土) ７/２１(月)	７人 ３７人	講師当館学芸員
（2）	博物館バックヤードツアー	８/２(土) ８/１５(金)	３８人 ３６人	講師当館学芸員
3	第１０回わぉ！な生きものフォトコンテスト写真展	７/１２(土)～ ８/１７(日)	２０，１２０人	「わぉ！」と思わず声が出てしまうような、生きものとの偶然の出会いをとらえた写真コンテストの作品展
4	特別企画展「ポケモン天文台」	１１/１(土)～ １/１２(月)	８９，７０７人	多様なポケモンの「ふしぎ」な生態と照らし合わせて、宇宙のさまざまな「不思議」を紹介 主催自然科学研究機構国立天文台、ＮＨＫプロモーション 共催読売新聞 特別協力㈱ポケモン 展示製作ＮＨＫアート 監修自然科学研究機構国立天文台 協力ＪＡＸＡ
5	企画展「相模原のたからもの」	１/３１(土)～ ３/１(日)	６，８１９人	相模原の「たからもの」である様々な文化財と、それらを後世に残すための取り組みを紹介 連携市文化財課
（1）	講演会「レジェンド学芸員が語る相模原の宝」	１/３１(土)	１１１人	講師大貫英明さん、守屋博文さん、加藤隆志さん(いずれも元当館学芸員)
（2）	展示解説	２/７(土) ２/８(日) ２/２１(土) ２/２２(日)	１１人 １１人 ９人 ３０人	講師当館学芸員、市文化財課学芸員
（3）	プラネタリウムで能と神楽の世界	Ｒ８/２/１５ (日)	１６２人	能と神楽の演舞のほかトークショーを行った。 能舞金春流能楽師 神楽相模里神楽垣澤社中

	（4）	プラネタリウム×大島の獅子舞	R8/3/20（金）	182人	本市に伝わる民俗芸能である大島の獅子舞の演舞を行った。 演舞大島諏訪明神獅子舞保存会

（2）ミニ展示（全10件）

		事業名	会期・実施日	期間中の入館者数	内容・備考
1		「津久井城跡市民協働調査の調査成果展示」	R7/3/20（木）～6/1（日）	17，139人（4/1～6/1）	令和6年11月に発掘調査をした城坂曲輪群7号曲輪の成果や出土品を展示
2		「博物館で五月人形」	4/22（火）～5/18（日）	8，627人	博物館ボランティア「市民学芸員」による五月人形の展示 協働市民学芸員
	（1）	ぶんぶんゴマで遊ぼう	5/5（月） 5/6（火）	109人 120人	講師市民学芸員
	（2）	紙芝居クラブによる紙芝居上演	5/5（月） 5/6（火）	47人 115人	講師市民学芸員
	（3）	フォトスポット	5/5（月） 5/6（火）	60人 135人	五月人形の前で、市民学芸員制作の兜をかぶって記念撮影 協働市民学芸員
3		市史ミニ展示「戦時下の子供たちの生活」	7/5（土）～9/28（日）	72，748人	第2次世界大戦下の相模原市域の子どもたちの生活を写真、雑誌などから紹介
4		市史ミニ展示「大正7年の米騒動と津久井」	10/18（土）～12/27（土）	103，316人	大正7年の米騒動をテーマとし、当時の社会情勢や、津久井地域の様子を写真、雑誌などから紹介
5		ミニ企画展「選挙と尾崎行雄（咢堂）」 会場：尾崎咢堂記念館	11/1（土）～R8/2/6（金）	288人	選挙に対する尾崎行雄の考えや普選法成立までの動きを紹介。尾崎行雄を全国へ発信する会へ委託して実施
6		令和7年度「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト館内受賞作品展	R8/1/24（土）～4/5（日）	25，511人（1/24～3/31）	全国小・中学生作文絵画コンテストにおいて、当館に応募のあった作品の館内受賞作品ついて展示
7		「甲州道中おひな様」展 会場：吉野宿ふじや	2/7（土）～3/8（日）	315人	地元に伝わるおひな様を展示。NPO法人ふじの里山くらぶへ委託して実施
8		「博物館でおひな様」	2/19（木）～3/8（日）	7，494人	博物館ボランティア「市民学芸員」によるひな人形の展示 協働市民学芸員
	（1）	フォトスポット	2/28（土） 3/1（日）	109人 112人	おひな様の段飾りの前で写真撮影コーナーを設置した。 協働市民学芸員

9	市史ミニ展示「葉書から読み解く大正・昭和の風情」	R8/3/14(土)～6/18(木)	8，446人(3/14～3/31)	大正・昭和の葉書から当時の生活の様子などを紹介し、当時の軍事郵便の状況や津久井地域の風景などを解説
10	津久井城跡市民協働調査の調査成果展示「2025年津久井城跡城坂曲輪群7号曲輪の調査成果」	R8/3/20(金)～5/31(日)	6，078人(3/20～3/31)	令和7年11月に発掘調査をした城坂曲輪群7号曲輪の成果や出土品を展示

（3）巡回・出張展示（全4件）

	事業名	会期	期間中の入館者数	内容・備考
1	「甲州道中と明治天皇巡幸」 会場：吉野宿ふじや	R7/3/20(木)～7/27(日)	297人(4/1～7/27)	甲州道中をテーマにした令和6年度歴史分野博物館実習生展の出張展示
2	「相模原ふるさといろはかるた」 会場：麻布大学いのちの博物館	R7/3/21(金)～6/11(水)	1，234人(4/1～6/11)	博物館ボランティアの「市民学芸員」が作成した「いろはかるた」を展示紹介 協働市民学芸員
3	「津久井城跡市民協働調査ミニ展示」 会場：図書館	6/13(金)～7/9(水)	32，693人	令和6年11月に発掘調査をした城坂曲輪群7号曲輪の成果や出土品を展示
4	「相模原ふるさといろはかるた」 会場：市役所本館展望室	11/19(水)～3/31(火)	（カウント無し）	博物館ボランティアの「市民学芸員」が作成した「いろはかるた」を展示紹介 協働市民学芸員

4 講座・講演会等

（1）講演会（全9件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	はやぶさWEEK関連事業 JAXA研究者による特別講演会	6/8(日)	132人	JAXAが主導する世界初の火星衛星サンプルリターンミッション(MMX)のミッション進捗について講演 講師澤田弘崇さん(JAXA宇宙科学研究所MMXプロジェクトファンクションマネージャー)
2	アステロイドデースペシャルトーク2025	6/28(土)	96人(オンライン113人)	天体の地球衝突問題に対応するプラネタリーディフェンスについての最新情報を講演 講師吉川 真さん(JAXA宇宙科学研究所准教授)ほか

3	中央地区「子どもと大人共に学ぶ宇宙教室」公開講座	7/26(土)～R8/3/7(土)	160人	中央地区の子どもたちに「宇宙について興味・関心が高く、科学技術に強い！」そんな大人に育ってくれることを願う教室 共催中央地区宇宙教室実行委員会
（1）	「日本のロケット開発技術の経緯・歴史と背景、そして今後の未来」について	7/26（土）	93人	講師森田秦弘さん(ＪＡＸＡ宇宙科学研究所名誉教授)
（2）	大川先生のまとめの講義	3/7(土)	67人	講師大川拓也さん(天文家)
4	国際お月見ナイト	10/4(土)	45人	小型月着陸実証機「ＳＬＩＭ」で見た月面から得られた科学的成果について講演 講師大竹真紀子さん(岡山大学教授)
5	市民大学開設６０周年記念講演会「夢は叶う－宇宙へ挑んだ少年の物語」	11/15(土)	96人	子どもの頃に夢見た「宇宙」への思いや、苦難を乗り越え偉業を達成したはやぶさ２の功績など、夢を持つことや学びを継続することの大切さについて講演 講師吉川 真さん(ＪＡＸＡ宇宙科学研究所 准教授)
6	ＪＡＸＡ特別公開	10/11(土)	1，181人	主催ＪＡＸＡ宇宙科学研究所 共催相模原市／相模原市教育委員会(当館)
（1）	特別講演「宇宙探査の“これから”」	10/11(土)	820人	宇宙探査のこれからについて５つのテーマで講演 講師ＪＡＸＡ職員
7	天文トークイベント「太陽系外惑星は『見える』のか？」	12/6(土)	58人	星のソムリエの資格を取得されているリコットさんが、クイズを取り入れながら星空を紹介 講師リコットさん(ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル「リコットの夕焼け天文部」)
8	近現代史講演会「シドモア女史とワシントンの桜」	R8/2/15（日）	17人	尾崎が東京市長時代に実現した日米友好の証である桜寄贈において、重要な役割を担ったシドモア女史について講演 講師梅本千晶さん(シドモア桜の会 横浜 代表理事)
9	宇宙フェスタさがみはら	R8/3/15（日）	643人	「宇宙を身近に感じられるまち　さがみはら」をテーマに、宇宙を楽しめる様々なプログラムを開催 連携市シティプロモーション戦略課

	（1）	講演会「惑星探査へ～ＪＡＸＡ宇宙科学研究所の２０２６年～」	Ｒ8/3/15（日）	１４１人	国際協力で挑む水星探査について講演 講師村上豪さん（ＪＡＸＡ宇宙科学研究所 助教授） 火星衛星探査計画（MMX）から迫る水惑星の形成について講演 講師倉本圭さん（ＪＡＸＡ宇宙科学研究所 特任教授）

（2）講座（全６件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	地質学講座「富士山の溶岩と湧水～桂川上流の地形と地質～」	5/18(日) 6/1(日) 6/15(日)	２９人 ２６人 ２３人	桂川周辺の地形・地質を野外で観察することを通して、富士山と相模原市域の地質の関連性を理解する講座 講師当館学芸員(地質) 協働相模原地質研究会
2	考古学講座「探検！中村遺跡！－旧石器時代の生活を探る－」	１０/4(土) １０/１２（日）	１９人 ２１人	南区上鶴間付近を探訪し、旧石器時代の立地やその変遷を辿ることを目的とする講座 講師当館学芸員（考古）
3	昆虫学講座「昆虫採集・標本作成入門」	１０/5(日) １１/9(日) １１/１６（日）	８人 １０人 １人	昆虫の基礎を学んだのち、採集から標本作成までを体験することで、昆虫や地域の自然史への理解を深める講座 講師当館学芸員(生物)
4	ＪＡＸＡ特別公開	１０/１１（土）	1，１８１人	主催ＪＡＸＡ宇宙科学研究所 共催相模原市／相模原市教育委員会（当館）
（1）	進路で人生どうなるの？ 私の進路と今の研究	１０/１１（土）	３３人	ＪＡＸＡ相模原キャンパス在学・在勤の学生・研究者による自身が歩んだ進路と現在の研究に関するトークイベントを実施。 講師ＪＡＸＡ職員
5	まちの歴史さがしてみました～まちさが考古学講座 会場：町田市生涯学習センター	2/21(土)	１１５人	町田市との連携事業で、境川両岸に分布する主要遺跡を紹介する講座 共催町田市生涯学習総務課・市文化財課・当館
6	中央区こどもカレッジ	2/21(土)	１１１人	プラネタリウム観覧のほか、ＶＲ体験によるクイズラリーを行った。 共催相模原市中央区役所

（3）体験学習（全１３件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	土器×２タッチ	４/２７(日)～ Ｒ８/３/２２(日) （全１１回）	１，８２３人	市内から出土した土器・石器に触れてもらう体験型の事業を実施。 講師当館学芸員(考古)
2	石器づくり実演	４/２９(火) ８/２２(金) ３/７(土)	１７６人 １０１人 １０１人	当館学芸員等が石器作りを実演。 講師当館学芸員(考古)、３/７のみ小菅将夫さん・鈴木秋平さん(いずれも岩宿博物館学芸員)
3	はやぶさＷＥＥＫ	６/８(日)	３８人	種子島の海岸の砂から星砂を探し、探した星砂で星座絵を作った。 講師当館学習指導員
（1）	宇宙ＶＲ体験	６/８(日)	１７７人	はやぶさ２の小惑星リュウグウへのタッチダウンなどをＶＲで体験 講師市職員
（2）	マインクラフトで 月面レース	６/８(日)	１１人	「マインクラフト®」で制作した月面ワールド「ルナクラフト」の特別公開バージョンを体験 講師市職員
（3）	にこにこバザール 「宇宙紙芝居」 会場：淵野辺駅北口	６/８(日)	１２４人	市民学芸員による「宇宙紙芝居」を地元商店の模擬店出店会「にこにこバザール」で実施 協働市民学芸員 主催にこにこ星淵野辺商店会
4	博物館で Ｆｅｅｌ度ｗａｌｋ	６/１４(土)	４人	カメラを片手に博物館の常設展示室を撮影しながら探検した。 講師伊藤恵子さん
5	いろいろな砂を顕微鏡で見てみよう	８/８(金)	１５７人	地域の地質や地形などに興味を持つきっかけとなるよう、様々な場所で採集された砂の観察を行った。 講師当館学芸員(地質) 協働相模原地質研究会
6	繭うさぎ作り	８/１３(水)	９０人	博物館で育てた繭をつかってうさぎを作った。 協働市民学芸員

7	相模原のシカの革で キーホルダーを作ろう！	8/14(木)	149人	野生生物との共存について考えるきっかけとして、市内で捕獲したシカの皮を使ったキーホルダーを作るワークショップ。 講師竹内 陶子さんほか (野生生物との共生の会)
8	ＪＡＸＡ特別公開	10/11(土)	1，181人	主催ＪＡＸＡ宇宙科学研究所 共催相模原市／相模原市教育委員会(当館)
（1）	宇宙飛行士に挑戦 コミュニケーション パズル	10/11(土)	328人	宇宙飛行士と管制官のように、言葉だけで物事を正確に指示して伝える難しさを、パズルを通して体験 講師ＪＡＸＡ宇宙教育センター職員
9	博物館×若あゆ 天体観測イベント 会場：相模川ビレッジ若あゆ	11/22(土)	52人	エアドームを利用したプラネタリウム投影を行い、事前学習をした後、焚火を囲みながら天体観望を行った。 連携当館・相模川自然の村野外体験教室
10	相模原市立博物館30周年記念「博物館の秋祭り」	11/22(土)～24(月)	1，241人	開館30周年の記念事業として、各分野のボランティア等と連携し、各種のワークショップを開催
（1）	縄文土器の拓本体験	11/22(土)	100人	縄文土器の拓本体験 協働相模原縄文研究会
（2）	この穴なんだろう？	11/22(土)	60人	盃状穴やその調査活動の紹介 協働ぶらり！盃状穴調査隊
（3）	掛軸取扱い体験	11/22(土)	28人	矢筈棒を使って掛軸取扱体験 講師当館学芸員(歴史)
（4）	チャレンジ今と昔の 道具マッチング	11/22(土)	150人	同じ用途で使われる昔と今の道具のマッチング体験 協働福の会
（5）	地質資料を顕微鏡で 見てみよう	11/22(土)	95人	地質資料を顕微鏡で見る観察体験 協働相模原地質研究会
（6）	実演！昆虫標本づくり	11/22(土)	50人	学芸員が昆虫標本をつくりながらトーク 講師当館学芸員(生物)
（7）	葉っぱ工作にチャレンジ	11/22(土)	112人	葉っぱを使った工作体験 協働相模原植物調査会、さがみはら緑の風
（8）	ぶんぶんゴマで遊ぼう	11/22(土)	282人	講師市民学芸員

	（9）	バックヤードツアー	１１/２３(日)	２７人	講師当館学芸員
１１		ヒーリングミュージック	１１/２８(金) ３/２８(金)	１６４人	ヒーリング用の効果音やＢＧＭを流しながら、プラネタリウム解説員が当日の星空解説を行う。
	（1）	ピアノの音色	１１/２８(金)	５１人	
	（2）	どこかで聞いた クラシック	３/２８(土)	１１３	
１２		プラネタリウムｄｅ 双眼鏡体験	Ｒ８/２/２８(土)	８９人	プラネタリウムが映し出す満天の星を、双眼鏡で楽しむ。 講師プラネタリウム解説員((㈱)東急コミュニティ)
１３		宇宙フェスタさがみはら	Ｒ８/３/１５(日)	６４３人	「宇宙を身近に感じられるまち　さがみはら」をテーマに、宇宙を楽しめる様々なプログラムを開催 連携市シティプロモーション戦略課
	（1）	ルナクラフトレーシング体験	Ｒ８/３/１５(日)	１４５人	「Ｍｉｎｅｃｒａｆｔ®」を使って企画・制作した月面ワールドでローバーレースに挑戦
	（2）	宇宙紙芝居	Ｒ８/３/１５(日)	５８人	市民学芸員による宇宙に関する紙芝居 協働市民学芸員

（4）観察・探訪会（全１件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	生きものミニサロン	４/１９(土)～ ３/１４(土) (全１２回)	２６５人	身近な生きものの不思議や観察の楽しさを紹介するミニ観察会やレクチャー。申し込み不要で各回１２時～１２時３０分に実施。 講師当館学芸員(植物・動物)・ＮＡＣＳ－Ｊ自然観察指導員

（5）観望会（全２件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	星空観望会	１０/２１ (火)～ ３/２１(土) (全１０回)	８４０人	プラネタリウムにて、観望予定天体の説明を受けた後、天体観測室にある口径４０㎝の大型望遠鏡や観測テラスに設置した大型双眼鏡や望遠鏡を使い、天体を観望。※曇天・雨天の場合はプラネタリウム観覧 講師当館学芸員 プラネタリウム解説員 当館天文クラブ会員

2		相模原市立博物館３０周年記念「博物館の秋祭り」	１１/２２(土)～２４(月)	１，２４１人	開館３０周年の記念事業として、各分野のボランティア等と連携し、各種のワークショップを開催
	（１）	昼間の星の観望会！	１１/２４(月)	３３７人	４０センチ反射式望遠鏡で、うしかい座のアークトゥルスを見る観望会を実施 講師当館学芸員(天文)

（６）クイズラリー（全１件）

		事業名	実施日	参加者	内容・備考
1		探検！発見！クイズラリー２０２５	7/２５(金)～２７日(日)	６８７人	展示資料にまつわるクイズラリーを実施 協働市民学芸員
	（１）	岩石かあさんのパフォーマンス	7/２６(土)	１２４人	「探検・発見クイズラリー２０２５」の一環で開催したパフォーマンス 協働市民学芸員

（７）成果発表会（全１件）

		事業名	実施日	参加者	内容・備考
1		学びの収穫祭	2/２８(土)～R８/5/１０(日)	１３，８５１人(R8/2/28～3/31)	博物館のボランティアグループ及び関連の団体、個人等が日頃の研究成果や活動状況を発表。
	（１）	口頭発表	2/２８(土)	１１０人	博物館のボランティアグループ及び関連の団体、個人等が日頃の研究成果や活動状況の口頭発表。
	（２）	展示発表	2/２８(土)～R８/5/１０(日)	１３，３１６人(R8/2/28～3/31)	博物館のボランティアグループ及び関連の団体、個人等が日頃の研究成果や活動状況をポスター形式で発表。
	（３）	学芸員講演会「『くさい』だけじゃない！カメムシのはなし」	3/１(日)	９０人	当館学芸員(生物)が、カメムシのその多彩な暮らしぶりから人間とのかかわりまで、たくさんの写真とともに紹介
	（４）	縄文土器の模様を写しとろう！	3/１(日)	８９人	縄文土器の拓本体験。 協働相模原縄文研究会
	（５）	キミもはやぶさツーになる！わくわくフライバイ体験」	3/１(日)	１２７人	協働東京科学大学附属科学技術高等学校科学部
	（６）	創作紙芝居「がんばれモモンガのモンタ」上演	3/１(日)	６２人	
	（７）	チャレンジ！今と昔の道具マッチング！	3/１(日)	５７人	同じ用途で使われる昔と今の道具のマッチング体験 協働福の会
	（８）	「博物館でおひな様」関連事業 フォトスポット※1	2/２８(土) 3/１(日)	１０９人 １１２人	おひな様の段飾りの前で写真撮影コーナーを設置した。 協働市民学芸員

※１　１４頁Ⅲ３（２）８（１）の再掲

５　広報等その他事業（全１３件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	誰でも星空ヨガ	４/３(木) ５/２７(火) ６/２０(金) １０/３１(金)	２１人 ２０人 １７人 ４１人	プロジェクターから映し出された星空の下行うヨガ体験 講師浜北　恵さん
2	ミニプラネタリウムｄｅ椅子ヨガ	４/２２(火)	１４人	ミニプラネタリウム内で、映し出された星空の下行う椅子ヨガ体験 講師浜北　恵さん
3	星空ベビーヨガ	４/２２(火) ５/９(金) ６/１０(火)	１２人 ３９人 ３１人	ヨガとプロジェクターで映し出す星空のコラボレーション。満天の星の下、乳幼児と保護者でヨガを楽しんだ。 講師浜北　恵さん
4	ＭＯＡ美術館 相模原市児童作品展入賞作品巡回展	５/１３(火)～ ５/２５(日)	３，７５６人 (期間中入館者数)	ＭＯＡ美術館相模原市児童作品展入賞作品を展示
5	はやぶさＷＥＥＫ関連事業	６/８(日)	１６１人	連携市シティプロモーション戦略課
（1）	キッズワークショップ 月のレジンチャームづくり	６/８(日)	１１人	自分だけの月のレジンチャームを作るワークショップを実施。
（2）	宇宙飛行士訓練服試着	６/８(日)	１５０人	宇宙飛行士訓練服のレプリカを着て記念撮影。
6	デジタルスタンプラリー「太陽系ウォークミッション」	７/１９(土)～ ９/２８(土)	２，０８７人	プラネタリウムリニューアルを記念した当館及び周辺施設６施設を巡るデジタルスタンプラリー
7	宇宙交差天 ＳＡＧＡＭＩＨＡＲＡ	１０/１１(土) １０/１２(日)	５４０人	連携市シティプロモーション戦略課
（1）	宇宙クリエイターズマーケット	１０/１１(土) １０/１２(日)	－	宇宙好きのクリエーターが集結し、宇宙モチーフの雑貨や作品を販売
（2）	蓮沼執太×プラネタリウムＬＩＶＥ	１０/１２(日)	１８０人	音楽家蓮沼執太さんによるプラネタリウムを会場にしたスペシャルライブ
（3）	「星はここにある～ＭＵＳＩＣ ｂｙ ＡＣＩＤＭＡＮ～」上映	１０/１２(日)	３６０人	全編にわたりＡＣＩＤＭＡＮの音楽を使用したプラネタリウム番組を上映
8	プラネタリウムｄｅベビーヨガ	１０/２４(金) １/１６(金) ３/１３(金)	３２人 ３２人 ３４人	プラネタリウムでヨガと星空のコラボレーション。満天の星の下、乳幼児と保護者でヨガを楽しんだ。 講師浜北　恵さん
9	プラネタリウムで星空椅子ヨガ	１２/１９(金) ２/１３(土)	３８人 ３６人	プラネタリウム内で、映し出された星空の下行う椅子ヨガ体験 講師浜北　恵さん
１０	博物館×市民会館 プラネタリウム ウィンターコンサート	Ｒ８/１/１４ (水)	１００人	演奏者林愛実さん（フルート）、長井進之介さん（電子ピアノ）

１１	星空ヨガｗｉｔｈ クリスタルボール	Ｒ８/１/３０ （金）	６４人	満天の星の中で、椅子に座りながらのヨガやクリスタルボウルを用いた瞑想を行う。 講師浜北　恵さん
１２	プラネタリウムで楽しむラグビー・パブリックビューイング ｉｎ相模原	Ｒ８/３/１４ （土）	１５３人	相模原市のホームタウンチーム三菱重工ダイナボアーズの試合をプラネタリウムでパブリックビューイング
１３	第７回 宇宙フェスタ さがみはら	Ｒ８/３/１５ （日）	２９９人	連携市シティプロモーション戦略課
（１）	星のストラップ作り	Ｒ８/３/１５ （日）	１０８人	自分だけの星のストラップを作るワークショップを実施さ
（２）	宇宙飛行士訓練服 記念撮影コーナー	Ｒ８/３/１５ （日）	１９１人	宇宙飛行士訓練服のレプリカを着て記念撮影

６　プラネタリウム・全天周映画・ミニプラネタリウム

※令和６年１２月３日（火）～令和７年７月１５日（火）はプラネタリウム改修工事のため、投影休映。令和６年１２月３日（火）～令和７年６月２９日（日）は、特別展示室に設置した９ｍエアドームによるミニプラネタリウムを無料で投影。

（１） 投影等開始時間

プラネタリウム

平日（火～金（特別上映期間を除く））
午後２時３０分・午後４時
土・日・祝日及び特別上映期間
午前１０時３０分・午前１１時４５分・午後１時・午後２時３０分・午後４時
（７月１９日～７月２１日、８月９日～８月１７日は、午後５時１５分に追加上映）

ミニプラネタリウム

平日（火～金（特別上映期間を除く））
午後２時３０分・午後３時３０分
土・日・祝日及び特別上映期間
午前１０時３０分・午前１１時３０分・午後１時３０分・午後２時３０分・午後３時３０分

（２）一般投影

新たなる光～ＲＥ:ＵＮＩＶＥＲＳＥ

内　容　リニューアルした投映機の紹介や当日の星空解説、新たな映像演出を踏まえた「水」にまつわる宇宙の旅に出かける内容で構成（所要約３０分）
７月１９日（土）～９月２８日（日）

星空テラス

内　容　解説員による季節の星空解説とＪＡＸＡ施設を紹介（所要約３０分）

こどもプラネタリウム

ア　内　容　解説員による季節の星空解説と企画番組で構成（所要約３０分）
イ　番　組　①新たなる光～ＲＥ:ＵＮＩＶＥＲＳＥ（子ども向けｖｅｒ）

７月１９日（土）～９月２８日（日）
②リーベルタース天文台だより～ミコとお月さまの魔法～
１０月４日（土）～３月３１日（火）

全天周映画
ア　内　容　大型映像の全天周映画作品を上映
イ　番　組　①すみっコぐらし　ひろい宇宙とオーロラの光
７月１９日（土）～３月３１日（火）
②ＭＭＸ　火星衛星探査計画
７月１９日（土）～３月３１日（火）

ミニプラネタリウム
ア　内　容　解説員による今夜の星空解説、全天周映画作品を無料上映（所要約２０～３０分）
イ　番　組　①今夜の星空解説
４月１日（火）～６月２９日（日）
②国際宇宙ステーション（ＩＳＳ）からの眺め
４月１日（火）～６月２９日（日）　※④の期間を除く
③プラネタリウム　ドラえもん　宇宙の模型
４月１日（火）～６月２９日（日）　※④の期間を除く
④ＨＡＹＡＢＵＳＡ　ＢＡＣＫ　ＴＯ　ＴＨＥ　ＥＡＲＴＨ期間バージョン
６月８日（日）～６月１５日（日）

（３）プラネタリウム特別上映
ア　内　容　学校の長期休暇の時期は、特別上映期間として毎日５回投影・上映した。なお、７月１６日のリニューアルオープンを記念し、７月１９日～７月２１日、８月９日～８月１７日は、一日６回投影・上映した。また、ＪＡＸＡ特別公開日にはＪＡＸＡ関連番組を拡大した特別プログラムでの上映を行った。
①夏休み（リニューアルオープン）特別上映期間
７月１９日（土）～８月２４日（日）
②ＪＡＸＡ相模原キャンパス特別公開日
１０月１１日（土）　※ＭＭＸ火星衛星探査計画ロングバージョンを上映
③春休み特別上映期間
３月２６日（木）～３月３１日（火）

（４）学習・幼児向け投影
ア　内　容　小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
イ　番　組　小中学校向け　小学校第３学年「太陽とかげ・観察道具の使い方」
小学校第４学年「空を見上げると（夏・冬）」
小学校第６学年「月の形と太陽の素顔（夏・冬）」
中学校第３学年「宇宙への旅」
幼児向け　「リーベルタース天文台だより　ミコとお月さまの魔法」
ウ　投影時間　事前に利用団体と調整し、平日の午前１回、午後１回投影

（５）広報
プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し館内に掲示した。また、淵野辺駅に掲示する他、博物館ホームページや広報さがみはらに番組内容を掲載した。
また、リニューアルオープンに伴い、報道提供やシティプロモーション戦略課による協力の元、各種メディアへの発信等を実施した。

7　広報・出版等

（１）印刷物・刊行物

ア　企画展（特別展示）のポスター・パンフレット等
　　※ポスター一覧は５３頁参照

イ　相模原市立博物館イベントニュース
　　（４～３月号）
ウ　プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
エ　相模原市立博物館研究報告 第３４集

（２）有償刊行物一覧（令和８年３月３１日現在）

博物館と市役所行政資料コーナーで販売　　売上総計　412,630　円

①博物館　　図録・報告書等売上

合計　352冊　147,310　円

ア 特別展・企画展図録等

書　　名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H　7・11	完売
江南の至宝	¥1,300	H　8・2	完売
相模原の昆虫－身近にいる小さな仲間たち－	¥350	H　8・4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H　8・11	完売
絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－	¥2,550	H　9・7	完売
太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－	¥700	H　9・11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H　10・9	完売
水生昆虫の世界－水の中の小さな虫たち－	¥1,200	H　11・7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H　11・10	完売
花を描き、花を知る－植物画の魅力－	¥1,200	H　12・7	完売
幕末・維新の相模原－村の殿様　旗本藤澤次謙と村人たち－	¥1,500	H　12・10	完売
星の測量－角度をはかり、位置をもとめる－	¥700	H　13・7	23
“道”再発見－道の役割とその移りかわり－	¥1,500	H　13・10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H　14・7	3
水晶ってすばらしい！－その美と実用の魅力－	¥1,000	H　15・7	完売
晃嶺の百花譜	¥1,500	H　16・7	5
相模原－その開発と変貌－	¥800	H　16・10	17
地球４６億年	¥900	H　17・7	11
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H　18・10	完売
文化財探訪マップ	¥400	R　8・1	74
合　　計		¥78,200	133

※「昆虫のふしぎ」の売上冊数のうち１冊は市役所行政資料コーナーで売り上げたもの。

イ 報告書等

書　　名	販売価格	発行年月	売上冊数
研究報告第７集　１９９９	¥850	H　10・3	完売
研究報告第８集　２０００	¥850	H　11・3	完売
研究報告第９集　２００１	¥900	H　12・3	完売
研究報告第１０集　２００２	¥900	H　13・3	完売
研究報告第１１集　２００２	¥850	H　14・3	完売
研究報告第１２集　２００３	¥900	H　15・3	0
研究報告第１３集　２００４	¥900	H　16・3	0
研究報告第１４集　２００５	¥900	H　17・3	0

研究報告第１５集　２００６	¥1,050	H　18．3	0
研究報告第１６集　２００７	¥1,150	H　19．3	0
研究報告第１７集　２００８	¥1,150	H　20．3	0
研究報告第１８集　２００９	¥700	H　21．3	0
研究報告第１９集　２０１０	配布のみ	H　22．3	－
研究報告第２０集　２０１２	配布のみ	H　24．3	－
研究報告第２１集　２０１３	配布のみ	H　25．3	－
研究報告第２２集　２０１４	配布のみ	H　26．3	－
研究報告第２３集　２０１５	配布のみ	H　27．3	－
研究報告第２４集　２０１６	配布のみ	H　28．3	－
研究報告第２５集　２０１７	配布のみ	H　29．3	－
研究報告第２６集　２０１８	配布のみ	H　30．3	－
相模原市民俗調査報告書　大島地区の自然と文化	¥900	H　10．3	完売
地図資料目録Ⅱ　一般図・主大図・地形図	¥1,200	H　12．3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H　13．3	完売
相模原市民俗調査報告書　大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H　14．3	3
資料目録４　テフラ標本目録	¥850	H　15．3	1
資料目録５　相模原植物誌Ⅰ	¥600	H　15．3	0
古淵Ｂ遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H　17．3	0
博物館所蔵古文書目録	¥900	H　17．3	0
境川流域民俗調査報告書	¥500	H　17．3	完売
博物館資料調査報告書　相模川の水生昆虫	¥1,700	H　20．3	完売
さがみはら自然ガイド　カエル見つけた!!	¥180	H　21．5	23
大日野原遺跡資料調査報告書	¥720	H　31．3	4
津久井城跡資料調査報告書	¥1,820	R　2．3	2
合　計		¥13,310	33

※「大日野原遺跡資料調査報告書」の売上冊数のうち１冊は市役所行政資料コーナーで売り上げたもの。

ウ 展示解説書

書　名	販売価格	発行年月	売上冊数
常設展示解説書	¥1,000	H　8．11	完売

エ　相模原市立博物館開館２５周年記念ポストカード

絵葉書名	販売価格	発行年月	売上数量
ポストカード（相模原市立博物館）	¥30	R　2．11	完売
ポストカード（相模原市緑区青野原上空からみた道志川）	¥30	R　2．11	完売
ポストカード（相劭津久井城図　但古城）	¥30	R　2．11	完売
ポストカード（毛羽取機）	¥30	R　2．11	完売
ポストカード（エナガの巣立ちビナ）	¥30	R　2．11	完売
ポストカード（勝坂式土器）	¥30	R　2．11	完売
ポストカード（相模原市立博物館プラネタリウム）	¥30	R　2．11	完売
ポストカード（７枚セット）	¥210	R　2．11	完売

オ 相模原市立博物館開館３０周年記念一筆箋

品　名	販売価格	発行年月	売上冊数
一筆箋	¥300	R　7．7	186

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計　126冊　　265,320　円

ア 相模原市史

書　　名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模原市史　第１巻　（中世以前通史）	¥2,300	S　39．11	3
相模原市史　第２巻　（近世通史）	¥3,400	S　42．3	1
相模原市史　第３巻　（近代通史）	¥2,800	S　44．2	0
相模原市史　第４巻　（現代通史）	¥3,200	S　46．3	0
相模原市史　第５巻　（中世・近世資料集）	¥4,500	S　40．11	0
相模原市史　第６巻　（近代資料集）	¥3,200	S　43．2	0
相模原市史　第７巻　（別編）	¥1,900	S　47．3	0
相模原市史　現代図録編	¥1,500	H　16．11	10
相模原市史　現代資料編	¥3,700	H　20．3	1
相模原市史　自然編	¥3,400	H　21．5	10
相模原市史　民俗編	¥2,550	H　22．3	3
相模原市史　民俗編DVD版	¥1,550	H　22．3	4
相模原市史　現代通史編	¥2,100	H　23．3	3
相模原市史　考古編	¥2,650	H　24．3	2
相模原市史　現代テーマ編	¥2,310	H　26．3	3
相模原市史　文化遺産編	¥3,060	H　27．3	3
相模原市史　近代資料編	¥3,240	H　29．5	1
相模原市史　別編	¥1,690	H　30．2	0
相模原市史　別編CD版	¥920	H　30．2	5
相模原市史ノート創刊号	¥350	H　16．3	1
相模原市史ノート第２号	¥700	H　17．3	1
相模原市史ノート第３号	¥600	H　18．3	1
相模原市史ノート第４号	¥600	H　19．3	2
相模原市史ノート第５号	¥600	H　20．3	1
相模原市史ノート第６号	¥700	H　21．3	1
相模原市史ノート第７号	¥700	H　22．3	1
相模原市史ノート第８号	¥650	H　23．3	2
相模原市史ノート第９号	¥700	H　24．3	1
相模原市史ノート第１０号	¥700	H　25．3	3
相模原市史ノート第１１号	¥700	H　26．3	1
相模原市史ノート第１２号	¥700	H　27．3	3
相模原市史ノート第１３号	¥700	H　28．3	1
相模原市史ノート第１４号	¥720	H　29．3	5
相模原市史ノート第１５号	¥760	H　30．3	3
相模原市史調査報告書１　旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H　19．3	0
相模原市史調査報告書２　動植物調査目録	¥2,400	H　21．3	0
相模原市史調査報告書３　相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化史	¥1,500	H　21．3	1
相模原市史調査報告書４　相模原市地域の第４紀地史研究のための指標テフラ（火山灰）	¥2,300	H　21．3	0
相模原市史調査報告書５　縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H　21．3	0
相模原市史調査報告書６　勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H　22．3	5
相模原市史調査報告書７　当麻山無量光寺歴代上人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H　23．3	1
合　　計		¥140,180	83

イ 城山町史

書　　名	販売価格	発行年月	売上冊数
城山町史１　資料編　考古・古代・中世	¥7,000	H　4・3	1
城山町史２　資料編　近世	¥6,000	H　2・3	0
城山町史３　資料編　近現代	¥7,000	H　5・3	1
城山町史４　資料編　民俗	¥5,150	S　63・3	1
城山町史５　通史編　原始・古代・中世	¥3,500	H　7・3	2
城山町史６　通史編　近世	¥3,500	H　9・3	1
城山町史７　通史編　近現代	¥3,500	H　9・3	2
城山風土記１　近現代編	¥600	H　3・3	2
城山風土記２　近世文書を読むために	¥700	H　6・3	1
城山風土記３　九十歳の雑記帳	¥600	H　7・3	0
城山風土記４　歴史・民俗編	¥600	H　8・8	2
城山風土記５　町の歩みをふりかえる	¥600	H　9・3	1
城山町史資料所在目録　近世文書	¥3,600	S　60・3	0
城山町史資料所在目録　近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S　61・12	0
城山町史新聞記事目録	¥1,200	S　62・3	0
町史の窓（復刻版）	¥1,100	H　18・3	2
合　　計		¥42,550	16

ウ 津久井町史

書　　名	販売価格	発行年月	売上冊数
津久井町史　資料編　近世１	¥2,000	H　16・3	1
津久井町史　資料編　考古・古代・中世	¥2,900	H　19・3	1
津久井町史　資料編　近代・現代	¥3,150	H　21・2	0
津久井町史　資料編　近世２	¥3,550	H　23・3	0
津久井町史　自然編	¥3,690	H　25・3	2
津久井町史　通史編　近世・近代・現代	¥2,720	H　26・3	3
津久井町史　通史編　原始・古代・中世	¥2,620	H　28・3	4
津久井町史　文化遺産編	¥4,060	H　30・3	2
ふるさと津久井　第１号	¥1,000	H　12・3	完売
ふるさと津久井　第２号　特集　山に生きる	¥1,000	H　13・3	完売
ふるさと津久井　第３号　（特別号）津久井の古地図	¥1,000	H　14・3	完売
ふるさと津久井　第４号　特集　養蚕と織物（１）	¥1,000	H　15・9	完売
ふるさと津久井　第５号　特集　養蚕と織物（２）	¥750	H　24・3	4
ふるさと津久井　第６号	¥820	H　26・3	0
ふるさと津久井　第７号	¥790	H　29・3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」	¥1,700	H　16・3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」	¥1,500	H　20・3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」	配布のみ	H　24・3	－
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」　CD版	配布のみ	H　24・3	－
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」	配布のみ	H　24・3	－
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」　CD版	配布のみ	H　24・3	－
津久井町史調査報告書「津久井町の動物」	¥720	H　25・2	0
津久井町史調査報告書「津久井町の気象」	¥1,840	H　25・2	0
津久井町史資料目録　公文書１	¥2,300	H　22・3	0
津久井町史資料目録　公文書２	¥1,700	H　24・3	0
津久井町史資料叢書　事務報告１	¥1,850	H　22・3	0
津久井町史資料叢書　事務報告２	¥1,850	H　22・3	0
合　　計		¥45,240	19

エ 相模湖町史

書　　名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模湖町史　歴史編	¥14,000	H　13．3	1
相模湖町史　民俗編	¥5,600	H　19．2	0
相模湖町史　自然編	¥11,550	H　20．2	1
合　　計		¥25,550	2

オ 藤野町史

書　　名	販売価格	発行年月	売上冊数
藤野町史　資料編上	¥3,000	H　6　．3	1
藤野町史　資料編下	¥3,000	H　6　．3	1
藤野町史　通史編	¥4,000	H　7　．3	1
ふじの町史　研究誌（第１号）	¥600	H　2　．3	完売
ふじの町史　研究誌（第２号）		H　4　．2	完売
ふじの町史　研究誌（第３号）	¥600	H　5　．3	3
ふじの町史　研究誌（第４号）		H　6　．2	完売
ふじの町史　研究誌（第５号）	¥600	H　8　．3	完売
合　　計		¥11,800	6

（３）広報活動

ア　ポスター・チラシ掲示

前述の各ポスター・チラシを市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示・配架を依頼するとともに、淵野辺駅等に掲示した。

イ　記事提供

広報さがみはらや相模原記者クラブ、タウン紙などのメディアへイベント情報等を提供した。また、「相模経済新聞」の連載記事「相模原市立博物館３０年の歩みとこれから」で学芸員が寄稿を行った。

ウ　放送番組

ＮＨＫ、テレビ朝日、日本テレビ、テレビ神奈川の博物館の事業や動植物を紹介する番組の取材に対応した。

エ　博物館資料の博物館外での常設展示

考古資料を史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館、史跡勝坂遺跡公園管理棟、国立歴史民俗博物館、津久井湖城山公園に年間を通じて貸出して展示に協力した。民俗資料を国立民族学博物館に年間を通じて貸出して展示に協力した。

オ　博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどによる発信

各種事業のＰＲや周知を博物館ホームページ、職員ブログ、Ｘなどで広く発信したほか、ホームページをリニューアルした。

8　博物館学芸員実習

学芸員資格取得のために実習として、８月５日（火）～９月７日（日）の内、実質９日間に１４大学から延べ１６人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

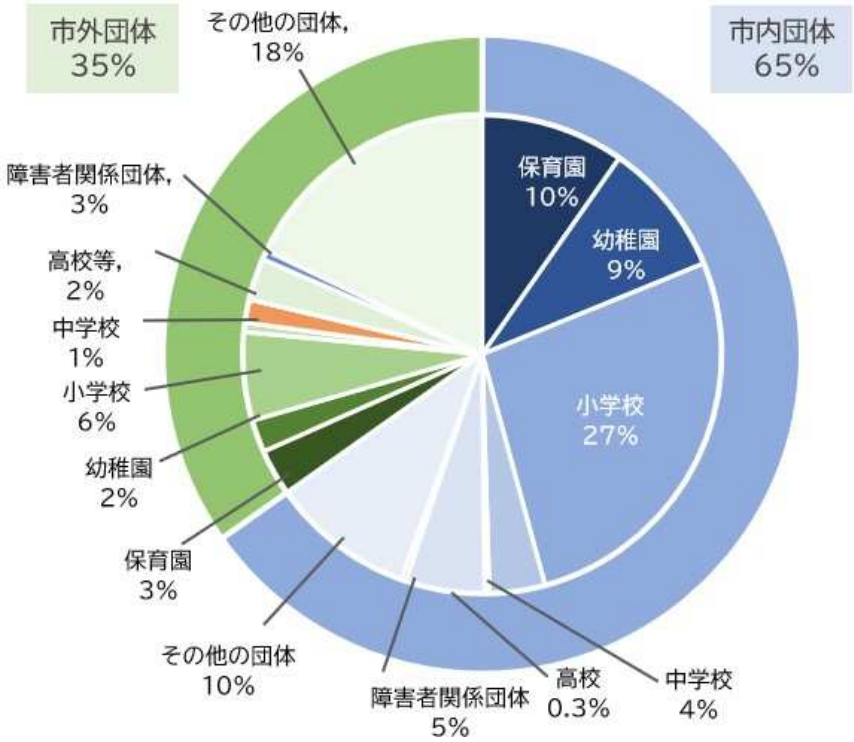
分野	大　学	人　数	分野	大　学	人　数
考古	立教大学	1	生物	東京農業大学	2
	青山学院大学	1		日本大学	1
	鶴見大学	1		日本獣医生命科学大学	1
歴史	松陰大学	1	地質	日本大学	1
	桜美林大学	1		筑波大学	1
	相模女子大学	1		女子美術大学	1
民俗	専修大学	1			
	帝京大学	1			
	駒沢大学	1			

9　団体利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム貸切投影、展示学習）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数
4月	3	180	8月	12	400	12月	30	1356
5月	13	800	9月	37	1431	1月	32	2154
6月	17	659	10月	52	2791	2月	24	1051
7月	9	402	11月	64	3335	3月	26	1143
						年計	319	15,702

団体利用内訳



利用団体	市内団体	市外団体
保育園	31	10
幼稚園	29	7
小学校	86	19
中学校	12	2
高校等	1	5
大学等	0	0
障害者関係団体	17	9
高齢者関係団体	1	2
その他の団体	31	57
合計	208	111

１０　博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用

市内小中学校からの依頼により、学校教材用に博物館資料の貸出しを行った。

（主な貸出しキット）

・糸車　　・昭和のオーディオキット
・火縄銃　　・昔のアイロンキット
・下駄　　・箱膳セット
・縄文体験キット　　・太陽系モデル

学年	件数
小学校1年	1
小学校2年	0
小学校3年	4
小学校4年	1
小学校5年	0
小学校6年	1
中学校1年	0
中学校2年	0
中学校3年	0
合計	7

１１　相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し

博物館ボランティアの「市民学芸員」が７年かけて企画・検討を重ね、手作りで平成２９年度に完成した「いろはかるた」。市内緑区から南区まで４７ヶ所の名所・旧跡などを紹介したもので、絵札、読み札の他、解説文（日本語、英語）、紹介地マップもついている。

令和７年度に、解説文の一部を改訂した。

また、貸出し分（３９組、期間は原則１ヶ月以内）を博物館内の掲示やホームページ、職員ブログでＰＲを行ったほか、麻布大学いのちの博物館や市役所本館展望室にて紹介した。

（1）制作

相模原市立博物館ボランティア「市民学芸員」

（2）貸出し件数

学校、個人９件５１組

１２　ネットで楽しむ博物館

動画配信サイトＹｏｕＴｕｂｅの「相模原市立博物館公式チャンネル」を用いて、博物館ホームページの「ネットで楽しむ博物館」で動画配信を行った。

	タイトル	視聴回数※1
1	相模原市立博物館プラネタリウムの紹介動画（２０２５年7月リニューアル）	１，９５２回
2	相模原市立博物館の紹介（２０２５）	１，３９２回

※1　３月３１日までの延べ視聴回数。

１３　博物館職員の講師依頼等

市内公民館、小・中学校、高校、他自治体等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した（これに類するものも記載）。

依頼件数　計６５件
聴 講 者　延べ　３，６２１人

＜一般の講師派遣＞

No.	演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
1	新規採用職員研修「相模原の歴史」	人材育成課	歴史	4/2 4/3	けやき会館	長澤
2	トコロジスト入門講座	NPO 法人湘南いきもの楽校	生物	4/19	馬入水辺の楽校	秋山
3	自然観察会 春の城山 森歩き	(公財)神奈川県公園協会	生物	4/26	県立津久井湖城山公園	秋山
4	相模原と養蚕	大野台公民館	民俗	5/28	大野台公民館	山本
5	成人学級「旧石器～縄文時代(勝坂遺跡など)	新磯公民館	考古	5/31	新磯公民館	長澤
6	青山学院大学 市民協働プロジェクトにおける博物館見学	青山学院大学シビックエンゲージメントセンター	全般	6/7	博物館	眞壁
7	木もれびの森の生態に関する研修	NPO 法人相模野こもれび	生物	6/15	木もれびの森	嶋本
8	高齢者学級第4回「縄文時代の遺跡に関する講座」～出土土器に触って歴史を学ぶ～	横山公民館	考古	6/19	横山公民館	長澤
9	相模原緑の風観察学習会	相模原緑の風	生物	6/22	博物館	秋山
10	めをこらして （自然観察会）	ボーイスカウト相模原７団ビーバー隊	生物	6/29	博物館及び その周辺	嶋本
11	大沼公民館 「七夕のつどい」	大沼公民館	天文	6/29	大沼公民館	田子
12	さがみはら地域づくり大学「相模原の歴史を知ろう」	ユニコムプラザさがみはら	歴史	7/12	ユニコムプラザさがみはら	眞壁
13	相模の土器を見る会 縄文土器見学会	相模の土器を見る会	考古	7/12	博物館	長澤
14	セミの羽化観察教室	大野南公民館	生物	7/25	大野南公民館･大野中央公園	嶋本
15	XR ミートアップ京都	京都文化博物館	考古	9/26	京都文化博物館	長澤

16	石器文化研究会 シンポジウム	石器文化研究会	考古	9/27 9/28	明治大学グローバルフロント	長澤
17	新磯公民館 「宇宙・太陽系のお話」	新磯公民館	天文	9/28	新磯公民館	里見
18	河川生物相調査	相模原の環境をよくする会	生物	9/30	城山公民館・境川	嶋本
19	新規採用職員研修 「相模原の歴史」	人材育成課	歴史	10/3	けやき会館	長澤
20	オーサーズカフェ「虫をしらべる、まもる～小笠原諸島の現場から～」	ユニコムプラザさがみはら	生物	10/11	ユニコムプラザさがみはら	嶋本
21	境川自然観察 「秋の昆虫と植物」	上鶴間公民館	生物	10/12	上鶴間公民館～境川	嶋本
22	秋の星座と星座早見表の使い方について	サロン畑ヶ中	天文	10/16	畑ヶ中自治会館	田子
23	石割実演	文化財課	考古	10/18	史跡田名向原遺跡公園	長澤
24	「収蔵庫はタイムマシーン　地域の生物多様性を支える地域博物館」	水みどり環境課	生物	10/23	博物館	秋山
25	さがみはらの旧石器時代と人類進化	相模原市文化財調査・普及員	考古	10/23	博物館	長澤
26	川原石のふしぎ	旧石器ハテナ館	地質	10/25	旧石器ハテナ館	河尻
27	土器×2タッチ （勝坂遺跡縄文まつり）	文化財課	考古	11/3	史跡勝坂遺跡公園	長澤
28	土器×2タッチ （市立図書館）	図書館	考古	11/9	図書館	長澤
29	秋期一般教養講座「オーロラが輝く惑星”地球”」	鎌倉市社会福祉協議会	天文	12/8	鎌倉市 教養センター	里見
30	理科実習教員 （高等学校）研修	神奈川県高等学校教職員組合理科実習教員専門委員会	生物	12/13	博物館	嶋本
31	さがみはら宇宙博 「移動式プラネタリウム」	シティプロモーション戦略課	天文	12/13	杜のホール はしもと	里見 田子
32	授業で使える！ 自然観察のネタおろし	神奈川県高等学校教科研究会理科部会	生物	12/25	博物館	秋山
33	原当麻付近の相模野台地の地形と地質	相模原市文化財調査・普及員	地質	12/25	博物館	河尻
34	環境講座「スズメって減ってるの?!&野鳥観察 in 道保川公園」	陽光台公民館	生物	1/10	陽光台公民館及び道保川公園	秋山
35	冬の星空ウォッチング	陽光台公民館	天文	1/16	陽光台公民館	里見 田子

36	新規採用職員研修	人材育成課	歴史	1/29	けやき会館	長澤
37	相模原の自然に親しむ ―生物多様性と地域の多様性―	橋本図書館	生物	2/7	橋本図書館	嶋本
38	植物観察会	鹿沼公園	生物	2/7	相模原市立 鹿沼公園	秋山
39	職場研修（岩石採集）	相模川自然の村野外体験教室	地質	3/21	相模川自然の村野外体験教室	河尻
40	勝坂地形観察	文化財課	地質	3/8	勝坂遺跡公園周辺	河尻
41	歴史講座 ～津久井城の歴史～	津久井中央公民館	考古	3/11	津久井中央公民館	長澤
42	境川地形観察会	大野南公民館	地質	3/20	大野南公民館	河尻
43	シンポジウム－旧石器時代を知る・綾瀬の旧石器－」	綾瀬市 生涯学習課	考古	3/21	綾瀬市オーエンス文化会館小ホール	長澤

＜学校への講師派遣＞

	演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
1	田名望地水田地帯のホタルと生物多様性	上溝南高等学校	生物	4/22	神奈川県立 上溝南高等学校	嶋本
2	環境教育の実施及び打合せ	法務省矯正局少年矯正課	生物	5/1	小山中学校	秋山
3	縄文土器を活用した歴史の授業	当麻田小学校	考古	5/13	当麻田小学校	長澤
4	環境教育の実施及び打合せ （テントウムシのはなし）	法務省矯正局少年矯正課	生物	5/14	小山小学校	嶋本
5	社会科「縄文時代の人々のくらし」	横浜国立大学付属鎌倉小	考古	5/22	横浜国立大学付属鎌倉小学校	長澤
6	博物館見学・講義	女子美術大学	地質	5/22	博物館	河尻
7	田名望地水田地帯でのホタル観察会	上溝南高等学校	生物	5/23	神奈川県立 上溝南高等学校	秋山
8	SDGs ツアー 「生き物の探し方」	星が丘小学校	生物	5/30	博物館	秋山
9	カイコの育て方について	田名小学校	生物	6/3	田名小学校	秋山
１０	横浜国立大学地域交流科目「地域課題実習：ときわの森生物調査団」（鳥）	横浜国立大学総合学術高等研究院	生物	6/7	横浜国立大学	秋山

１１	縄文土器を活用した歴史の授業	広田小学校	考古	6/17	広田小学校	長澤
１２	社会科特別講座	光明学園相模原高等学校	考古	7/11	博物館	長澤
１３	横浜国立大学地域交流科目「地域課題実習：ときわの森生物調査団」（虫）	横浜国立大学総合学術高等研究院	生物	10/1	横浜国立大学	嶋本
１４	野生動物学野外実習	麻布大学獣医学部野生動物学研究室	生物	10/4	博物館	秋山 嶋本
１５	ビオトープについて	上鶴間小学校	生物	10/7	上鶴間小学校	嶋本
１６	地層について	弥栄小学校	地質	10/8	博物館	河尻
１７	陸編・日吉の森実習	慶応義塾大学理工学部	生物	11/3	慶応義塾大学日吉・矢上キャンパス	嶋本
１８	生物多様性と地域の多様性	神奈川県立津久井高等学校	生物	11/3	神奈川県立津久井高等学校	嶋本
１９	いきもの未来メッセージ	上溝小学校	生物	11/20	上溝小学校	秋山
２０	「科学コミュニケーション論」見学実習	桜美林大学教育探究科学群	生物	12/4	博物館	秋山 嶋本
２１	縄文土器を活用した歴史の授業	淵野辺小学校	考古	12/16	淵野辺小学校	長澤
２２	KOMYO 自然探求「身近な春の自然に目を向けてみよう！」	光明学園相模原高等学校	生物	3/24	光明学園相模原高等学校	秋山 嶋本

１４　ＪＡＸＡとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」

ＪＡＸＡ相模原キャンパス内の宇宙科学探査交流棟内に博物館紹介コーナーを設置し、出張展示等を行っている。また、交流棟と博物館をまたぐスタンプラリーを実施した。

	分野	事業名
1	歴史	キャンプ淵野辺の返還　※Ｒ８までの継続事業

１５　市民との協働

市民の会８団体とともに調査・研究・普及等の活動を行った。
登録者数　２３３人（延べ参加者数１，５９６人）

	名称	登録者	参加者・活動回数	内容
1	市民学芸員	４０人	延べ５１０人 ６１回	クイズラリー、学習資料展の企画・準備等を行った。また、『市民学芸員かわら版』の作成、「相模原ふるさといろはかるた」の出張展示などを行った。
2	相模原植物調査会	５６人	延べ９８人 ３５回	市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、博物館実習生の標本取扱い等の指導を行った。
3	相模原地質研究会	１８人	延べ１１６人 ８３回	相模野台地の地形調査および寄贈された標本の整理を行った。また、地質分野の教育普及事業の準備と運営を行った。
4	相模原縄文研究会	１８人	延べ２６５人 ４０回	寄贈された考古資料の整理を行った。また、土器×２タッチ、石割実演、考古学講座のサポートを行った。
5	相模原市立博物館 天文クラブ	１０人	延べ１２２人 ３９回	博物館と協働して、月面等の写真撮影及び資料化、身近に起きる天文現象の記録と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を行った。
6	福の会	６人	延べ１０５人 ２２回	寄贈された民俗資料等の整理やワークショップを行った。収蔵庫や民俗関係の常設展示室の清掃作業などを実施した。
7	さがみホネホネ団	７８人	延べ３２０人 ２４回	博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。さらに、フクロウの食性分析作業を行った。
8	ぶらり！相模原 盃状穴調査隊	７人	延べ６０人 １７回	今年度から市民調査隊として結成。 市域の石造物を対象に、盃状穴の有無について悉皆調査を行った。

Ⅳ 資料管理

1 博物館収蔵資料点数

博物館 館内収蔵資料点数リスト

分 野	分 類	保管場所	”収蔵点数（R8.3.31 現在）”	増 減	単位
考 古	考古資料	考古資料収蔵庫	7,052	85	箱
		自然･歴史展示室	898	0	点
		他館等長期貸出資料	679	0	点
	分野 計		8,629	85	箱/点
歴 史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,951	104	点
		生活資料収蔵庫	1,217	0	点
		特別収蔵庫	67,643	2	点
		フィルム収蔵庫	14	0	展
		自然･歴史展示室	126	0	点
	軍事資料	古文書収蔵庫	23	0	点
		生活資料収蔵庫	1,669	5	点
		自然･歴史展示室	34	0	点
	古文書等市史資料（旧役場文書は除く）	古文書収蔵庫	3,323	0	点
		市史編さん室	797	0	点
		特別収蔵庫	21,742	0	点
	購入資料	特別収蔵庫	112	0	点
	地図･写真資料	図面保管庫	5,917	1	点
	分野 計		108,568	112	点
民 俗	民俗･生活資料	生活資料収蔵庫 大型資料収蔵庫	23,589	85	点
		自然･歴史展示室	141	0	点
		他館等長期貸出資料	36	0	点
	分野 計		23,766	85	点
地 質	化石資料	地質資料収蔵庫等	287	1	点
		自然･歴史展示室	50	0	点
	岩石･鉱物資料等	地質資料収蔵庫等	4,406	35	点
		自然･歴史展示室	34	0	点
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	7,104	6	点
		自然･歴史展示室	12	0	点
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	218	4	点
	砂礫等資料	地質資料収蔵庫等	760	19	点
		自然･歴史展示室	5	0	点
	剝ぎ取り資料	地質資料収蔵庫等	50	0	点
		自然･歴史展示室	4	0	点
	その他	地質資料収蔵庫等	2	0	
	分野 計		12,932	65	点
動 物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	0	点
		自然･歴史展示室	16	0	点
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	40,651	500	点
		自然･歴史展示室	18	0	点
	小動物等	液浸標本収蔵庫等	2,891	0	点
		自然･歴史展示室	14	0	点
	鳥類	動植物資料収蔵庫等	201	0	点
		自然･歴史展示室	40	0	点
	哺乳類	動植物資料収蔵庫等	30	0	点
		自然･歴史展示室	4	0	点
	分野 計		43,905	500	点
植 物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	57,491	113	点
		自然･歴史展示室	21	0	点
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	0	点
	分野 計		57,518	113	点
天 文	天文資料	フィルム収蔵庫	2,028	0	点
		特別収蔵庫	0	0	点
		天文展示室等	36	5	点
	分野 計		2,064	5	点
合 計			257,382	960	点

館内収蔵美術品資料点数リスト
館内収蔵美術品（文化振興課扱）

分　野	分　類	保管場所	”収蔵点数（R7.3.31 現在）”	増減	単位
美 術 品	絵画	美術品収蔵庫	423	0	点
	書	美術品収蔵庫	56	0	点
	彫刻	美術品収蔵庫	2	0	点
	写真	フィルム収蔵庫	2,112	0	点
合　計			2,593	5	点

館内収蔵市史資料

分　野	分　類	保管場所	収蔵点数（R7.3.31 現在）	増減	単位
市史資料	行政資料（旧役場文書）	古文書収蔵庫	600	0	点

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

分　野	分　類	施設名	収蔵点数（R7.3.31 現在）	増減	単位
考 古	考古資料	藤野第2資料保管庫	411	0	箱
		城山郷土資料保管庫	798	489	箱
		吉野宿ふじや	75	0	点
	分野 計		1,284	489	展/箱
歴 史	歴史資料	尾崎咢堂記念館	4,078	0	点
		小原本陣・小原の郷	254	0	点
		城山郷土資料保管庫	0	0	箱
		吉野宿ふじや	669	0	点
	分野 計		5,001	0	点
民 俗		小原本陣・小原の郷	401	0	点
		城山郷土資料保管庫	850	0	点
		吉野宿ふじや	1,469	0	点
	分野 計		2,720	0	点
動　物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	0	点
合　計			9,120	489	

博物館関係施設別一覧

施　設	分　野	分　類	収蔵点数（R7.3.31 現在）	増減	単位
藤野第2資料保管庫	考古	考古資料	411	0	箱
尾崎咢堂記念館	歴史	歴史資料	4,078	0	点
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	0	点
	民俗・地理	民俗生活資料	401	0	点
	施設 計		655	0	点
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	798	489	箱
	歴史	歴史資料	0	0	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	850	0	点
	施設 計		1,648	0	箱/点
吉野宿ふじや	考古	考古資料	75	0	点
	歴史	歴史資料	669	0	点
	民俗・地理	民俗生活資料	1,469	0	点
	動物	昆虫類	115	0	点
	施設 計		2,328	0	
合　計			9,120	489	

2　収集・整理

分野	内　　容
考古	発掘調査報告書刊行済の出土品の移管及び再整理、寄贈考古資料の整理作業、鉄製品の保存処理
歴史	寄贈・寄託(予定含む)歴史資料の分類整理、尾崎行雄(咢堂)関係資料の分類整理
民俗	民俗資料の収集、収蔵資料のカード・収蔵番号の整備、城山郷土収蔵庫所蔵資料の確認等の諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業、サイエンスミュージアムネット（S-Net）及びGBIFへの標本データの提供
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天体･天文現象･太陽の撮影やデータの整理、インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集、プラネタリウムリニューアルに向けた全国のプラネタリウム設置状況及び最新機器の情報収集や整理

3　有害生物管理の実施

（1）受入れ資料のくん蒸

殺菌・殺虫・殺卵のため、ガス薬剤（エキヒュームＳ）を用いた定期的なくん蒸を、被覆法により洗浄→乾燥室において２回実施した（８月・３月）。対象は、主に新規受入れ資料とした。周辺環境に配慮し、排気中のガス濃度が０ｐｐｍになるよう活性炭吸着排気を行った。

（2）有害生物調査

７月～１０月に収蔵庫、作業室及び特別展示室を対象として、各種トラップを用いた有害生物の侵入状況の調査を行った。また、特に捕虫数が多い収蔵庫３室を対象として、ミスト製剤（ミラクンＧＸ）による空間殺虫処理を１回実施した（９月）。

4　資料の特別利用

利用総件数１０５件（令和７年度中に利用申請されたもの）＜申請日順＞

	申請者	利用区分	利用目的	利用期間	分野	利用資料
1	個人	閲覧	調査研究	4/1	歴史	旧磯部村角田家文書2点
2	国立民族学博物館	館外貸出し	展示	4/1～R10/3/31	民俗	農具36点
3	相模原市相模湖まちづくりセンター	館外貸出し	展示	4/1～R8/3/31	歴史	御小休看板ほか2点
4	國學院大學文学部歴史地理学教室	館外貸出し	調査研究	4/1～R10/3/31	歴史	邊見家文書273点

5	個人	閲覧	調査研究	4/18 4/19	考古	風間遺跡群・当麻亀形遺跡・上溝久保ヶ谷戸遺跡
6	個人	閲覧	調査研究	4/15	考古	下原遺跡出土黒曜石
7	個人	閲覧・複写	調査研究	4/9	歴史	御巡見様一条覚書（宝暦10～天明8）
8	個人	閲覧	調査研究	5/15	考古	古淵Ｂ遺跡出土石器
9	相模川ふれあい科学館	写真利用	展示	4/22～7/13	生物	植物写真3種3点
10	丹波市立氷上回廊水分れフィールドミュージアム	館外貸出し	展示	4/15～8/31	生物	平成２８年度相模原市立博物館企画展「鳥の羽　温かく、美しくまとうもの」展示パネル９点
11	旧石器ハテナ館	館外貸出し	普及事業	4/22～6/4	考古	下中丸遺跡寄贈の縄文土器
12	古文書を読む会	撮影・閲覧	調査研究	4/18	歴史	旧中村家住宅文書352点
13	個人	撮影・閲覧	調査研究	5/9 5/11 5/16	考古	下九沢山谷・古淵B・橋本遺跡出土石器
14	個人	撮影・閲覧 模写・計測	調査研究	5/11	考古	古淵Ｂ遺跡出土石器
15	旧石器ハテナ館	館外貸出し その他	展示	5/1～6/4	考古	田名坂上遺跡第10地点出土の灰釉陶器
16	相模原市文化財課	館外貸出し その他	展示	5/1～7/4	考古	津久井城跡御屋敷曲輪出土品ほか
17	相模原市文化財課	館外貸出し その他	説明資料	5/11	考古	下原遺跡出土の縄文土器ほか
18	茅ヶ崎市博物館	写真利用	展示	5/20	考古	田名坂上の三彩小壺・田名半在家の龍文鏡
19	個人	撮影・閲覧	調査研究	5/13	民俗	ミキノクチ関連資料一式
20	個人	撮影・閲覧	調査研究	5/16	考古	横山5丁目遺跡出土の石器
21	個人	館外貸出し	調査研究	5/27～7/15	考古	下森鹿島遺跡出土石器
22	富山県 （立山博物館）	撮影・閲覧	展示	5/24	歴史	横浜近郊外国人遊歩規定範囲図
23	信濃毎日新聞社	写真利用	出版掲載	5/25	生物	タンポポ頭花線画4点
24	旧石器ハテナ館	館外貸出し その他	展示	5/30～7/1	考古	中村遺跡出土旧石器

25	株式会社ジェネシス	写真利用	番組制作	6/9～ 7/12	市史	区画整理街路 相模原警察署前十字路から西門方面1968(昭和 43)年ほか1点
26	個人	閲覧・複写	調査研究	5/29	市史	相模原市商店会名簿(昭和58年度)ほか6点
27	富山県 (立山博物館)	写真利用 館外貸出し	出版掲載 展示	9/4～ 11/5	歴史	横浜近郊外国人遊歩規定範囲図
28	個人	館外貸出し	調査研究	6/7～ R8/ 6/7	生物	ハムシ科昆虫標本17点
29	相模の土器を 見る会	撮影・閲覧	調査研究	7/12	考古	川坂遺跡出土土器ほか
30	茅ヶ崎市博物館	館外貸出し	展示	7/15～ 11/30	考古	矢掛・久保遺跡ほか
31	個人	撮影・閲覧	調査研究	6/20 7/6	考古	中村遺跡出土石器
32	相模原市議会	写真利用	展示 出版掲載	6/26～	歴史	尾崎行雄(大礼服)
33	旧石器ハテナ館	館外貸出し その他	展示	6/26～ 7/31	考古	下森鹿島遺跡・上中丸遺跡出土品
34	個人	撮影・閲覧	調査研究	6/26	歴史	1889年日記帳ほか1点
35	個人	撮影・閲覧	調査研究	7/20	考古	上溝甲7号遺跡ほか
36	個人	写真利用	出版掲載	7/4～	歴史	『中等国文一』ほか1点
37	個人	撮影・閲覧	調査研究	7/11	考古	下森鹿島遺跡出土石器
38	個人	撮影・閲覧	調査研究	7/21 7/24	考古	中村遺跡出土石器
39	神奈川県教育委員会文化遺産課	撮影・閲覧	調査研究	7/23	民俗	一人立ち三匹獅子舞資料一式
40	個人	撮影・閲覧	調査研究	8/3 8/15	考古	下森鹿島遺跡出土石器
41	旧石器ハテナ館	館外貸出し その他	展示	7/31～ 9/2	考古	磯部横穴・谷原古墳群出土品
42	個人	写真利用	出版掲載	11/1～	考古	下原遺跡および田名塩田遺跡群出土石器
43	個人	閲覧・複写	調査研究	8/5	歴史	相原村 小川家書簡(息女死去悔・当地洪水困窮ほか)
44	相模原市文化財課	館外貸出し	調査研究	8/14	考古	苦久保遺跡第4地点・小倉原西遺跡炭化種実

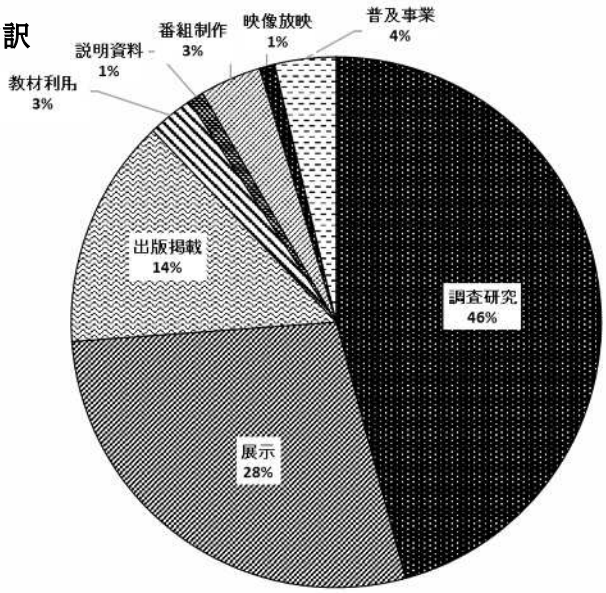
45	旧石器ハテナ館	館外貸出し その他	展示	8/28～ 10/1	考古	相原田ノ上遺跡第15地点 須恵器
46	個人	閲覧･撮影	調査研究	9/9 9/10	考古	当麻芹沢遺跡･当麻亀形遺跡･川坂遺跡
47	川崎市立 鷺沼小学校	写真利用	出版掲載	8/28～ R8 /3/31	民俗	火のし等画像15点
48	個人	撮影･閲覧	調査研究	9/3	考古	城山町出土の板碑15点
49	個人	撮影･閲覧	調査研究	9/4	歴史	書簡（尾崎行正→尾崎行昌）ほか1点
50	TBSテレビ 「THE TIME」	撮影･閲覧	番組制作	9/5	生物	クリハラリス写真
51	個人	撮影･閲覧	調査研究	10/2 10/3 10/9	考古	当麻芹沢遺跡･当麻亀形遺跡･川坂遺跡
52	個人	撮影･閲覧	調査研究	10/3	歴史	新聞切り抜き「湖底に沈む勝瀬村」（報知新聞 昭和16年10月25日）ほか2点
53	個人	撮影･閲覧	調査研究	10/10 10/21 ～23	考古	中村遺跡、下九沢山谷遺跡ほか2遺跡
54	JA全農 九州営農資材事業所 TAC･生産対策課	写真利用	出版掲載	10/14～ 11/14	民俗	陸稲の画像6点
55	個人	撮影･閲覧	調査研究	10/24	考古	大日野原遺跡、当麻遺跡、下中丸遺跡出土品
56	相模原市立 向陽小学校	撮影･閲覧	教材利用	10/8	地図	迅速測図3点
57	相模原市立 淵野辺東小学校	館外貸出し	教材利用	10/11～ 10/25	地質	淵野辺東小学校ボーリングコア3点
58	座間市教育委員会	写真利用	出版掲載	3/2～	考古	大日野原遺跡出土の土偶付土器
59	株式会社あお	写真利用	番組制作	10/26～ R10/ 10/26	民俗	養蚕画像2点
60	個人	撮影･閲覧	調査研究	11/9 11/22	考古	橋本遺跡･古淵 B遺跡･淵野辺嶽之内下遺跡
61	個人	撮影･閲覧	調査研究	10/28	考古	勝坂遺跡第1次調査報告書
62	相模原市 水みどり環境課	写真利用	普及事業	11/4～	生物	ナガミヒナゲシ写真1点

63	旧石器ハテナ館	館外貸出し その他	展示	10/31～ 12/2	考古	小倉宮原遺跡出土品
64	個人	閲覧	調査研究	10/31	歴史	日記帳（明治40年／作成：中村忠□）ほか2点
65	相模原市 水みどり環境課	写真利用	普及事業	11/17～	生物	チュウゴクアミガサハゴロモ写真3点
66	個人	写真利用	出版掲載	11/28	考古	勝坂遺跡Ｄ区出土のマメ圧痕土器
67	個人	撮影・閲覧	調査研究	11/13	歴史	「懐中日記」（大正2年～昭和15年）等23点
68	IDP 出版	写真利用	出版掲載	11/15	生物	ススキとオギのデジタル写真 計4点
69	株式会社フレックス	写真利用	番組制作	11/14～	生物	アズマモグラ写真2点、映像1点
70	タウンニュース相模原支社	撮影 写真利用	出版掲載	12/5～	考古	東原古墳出土の馬具
71	個人	写真利用	調査研究	12/19	考古	下原遺跡、田名塩田遺跡群出土石器
72	旧石器ハテナ館	館外貸出し その他	展示	11/30～ 12/26	考古	山王平遺跡ほか4遺跡の出土品
73	石川県立 歴史博物館	撮影・閲覧	調査研究	12/3	歴史	国郡・道筋・村高其他32ヶ条明細書上ほか4点
74	個人	閲覧・撮影	調査研究	12/13	考古	風間遺跡群・田名塩田原遺跡出土石器
75	相模川ふれあい科学館	館外貸出し	展示	12/9～ 3/12	生物	ヤマトリカブト 押し葉標本1点
76	相模原市中央区役所地域振興課	閲覧・複写	調査研究	12/16	市史	図面（相模総合補給廠関係）9点
77	個人	複写	調査研究	12/16	市史	御頼申一礼之事ほか2点
78	個人	撮影・閲覧	調査研究	12/17	生物	トビはく製 1点
79	タウンニュース 相模原支社	撮影 写真利用	出版掲載	1/1～	考古	東原古墳出土の馬具
80	国立歴史民俗 博物館	貸出	展示	R8/4/1 ～ R9/3/31	考古	田名向原遺跡の石器
81	旧石器ハテナ館	館外貸し出し・その他	展示	12/26～ R8/1/31	考古	田名堀ノ内遺跡・下森鹿島遺跡の墨書土器
82	旧石器ハテナ館	館外貸し出し・その他	展示	1/31～ 3/30	考古	当麻東原古墳出土品ほか
83	個人	撮影・閲覧	調査研究	1/8	民俗	加賀紫水関係資料（消息ほか）16 点

84	昆虫文化を子供たちに伝える会	館外貸出し	展示	1/23～1/27	生物	チョウ類標本箱4点
85	個人	写真利用	調査研究	2/1～	民俗	庚申掛軸
86	個人	撮影・閲覧 複写	調査研究	1/16	地理	相模原市地形図
87	旧石器ハテナ館	館外貸出し その他	展示	1/31～3/3	考古	津久井城跡御屋敷曲輪出土の引手
88	相模原市文化財課	館外貸出し	調査研究	2/3～2/4	考古	当麻遺跡第3地点出土の岩偶
89	相模原市 観光政策課	写真利用	普及事業	2/5～	歴史	尾崎咢堂写真
90	相模原市文化財課	館外貸出し	調査研究	2/8～2/10	考古	当麻遺跡第3地点出土の岩偶
91	相模原市文化財課	写真利用	出版掲載	2/28～	考古	大日野原遺跡出土土器ほか
92	モバーシャル 株式会社	写真利用	映像放映	2/18～3/13	歴史	陸軍通信学校配置図
93	株式会社むしか	写真利用	出版掲載	2/19～3/13	歴史 民俗	相州津久井城図但古城・養蚕画像
94	旧石器ハテナ館	館外貸出し その他	展示	2/28～3/13	考古	田名塩田遺跡群出土の石器
95	岩宿博物館	撮影・閲覧	調査研究	3/7	考古	下森鹿島遺跡、中村遺跡
96	津久井湖城山公園	館外貸し出し	展示	R8/4/1～3/31	考古	津久井城跡御屋敷曲輪出土遺物
97	中央大学	館外貸し出し	教材利用	R8/4/1～3/31	考古	大日野遺跡出土の縄文土器
98	相模原市 中央公民館	写真利用	出版掲載	3/11～	考古	大日野原遺跡出土土器
99	個人	撮影・閲覧	調査研究	3/8	歴史	旧津久井郷土資料室資料『娯楽世界12月号［不思議物語］』ほか
100	石川県立 歴史博物館	館外貸出し	展示	R8/4/3～7/10	生物 歴史	ツミ（雌）剥製、（国郡・道筋・村高其他32ヶ条明細書上）
101	石川県立 歴史博物館	写真利用	展示	4/3～	歴史	（国郡・道筋・村高其他32ヶ条明細書上）、一遍上人木像画像
102	個人	模写	調査研究	3/26	地図	地形1点
103	相模原市文化財課	館外貸出	展示	R8/4/1～3/31	考古	勝坂遺跡出土品
104	相模原市文化財課	館外貸出	展示	R8/4/1～3/31	考古	田名向原遺跡等出土品

105	個人	閲覧	調査研究	R8/4/1	歴史	旧磯部村角田家文書2点

資料の特別利用内訳



利用目的	件数
調査研究	49
展示	30
出版掲載	15
教材利用	3
説明資料	1
番組制作	4
映像放映	1
普及事業	4
合計	107

５　ＪＡＸＡ宇宙科学研究所からの借用物

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	大西宇宙飛行士がＩＳＳへ持ち込んだ、「はやぶさ２」と小惑星リュウグウの模型	H29.8.26		天文展示室
2	イオンエンジン μ１０模型	H30.6.8		天文展示室
3	カーボングリッド	H30.6.8		天文展示室
4	「あけぼの」１/５模型	H30.7.21		天文展示室
5	電波天文衛星「はるか」１/２０模型	R5.4.4		天文展示室
6	「れいめい」(INDEX)熱・構造試験モデル	R5.4.4		エントランス

その他物品

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	はやぶさのぼうけん日誌台	不明		天文展示室
2	スタンプラリー台(はやぶさ)	H30.2.2		エントランス
3	スタンプラリー台(いんせき)	H30.2.2		天文展示室
4	「はやぶさ」パネル類(３点)	H29.9.11		エントランス

Ⅴ 調査研究

分野	担当者	内容と成果
考古	長澤　有史 領家　玲美	当館所蔵の資料に関し、調査研究を深め、報告書の非掲載資料のうち、研究上重要な資料を抽出した上で当館研究報告に掲載した。また当館資料を含む旧石器時代終末の石器群を対象に学会発表し、同学会の予稿集に掲載した。また次年度の考古企画展のための縄文時代中期の土器について調査を行った。 そのほかにも文化財課、神奈川県公園協会とともに津久井城跡城坂曲輪群7号曲輪の発掘調査を市民協働調査で実施し、当館エントランスにて調査成果の速報展を開催した。 相模原市域の石造物を対象とした盃状穴調査のため、市民調査隊と橋本・下九沢・田名を悉皆調査し、研究成果の一部を研究報告第３４集に掲載した。昨年度に引き続き、市民協働でコクゾウムシの生育調査と野生のツルマメ・ヤブツルアズキの分布調査を行った。コクゾウムシはこれまでの研究経緯をまとめて論集に掲載した。ツルマメ等の調査経過を研究報告第３４集に掲載し、県立相原高等学校と共同研究を行う調整をした。
民俗	山本　菜摘	寄贈された民俗資料整理および城山郷土資料収蔵庫所蔵民俗資料の現状確認およびナンバリングを福の会と実施した。 また、令和６年度に福の会と相模里神楽垣澤社中の三者協働で実施した、神代神楽資料の整理及び資料調査について、研究報告第３４集に掲載した。
歴史	眞壁　ゆい	令和６年４月１日付で市指定有形文化財として指定された「飯縄権現像」を含む旧泉乗院大内家所蔵資料（当館寄託）を整理、市文化財課と共同で調査・研究し、その成果を『旧泉乗院大内家資料調査報告書』（令和８年３月３０日発行）に掲載した。
生物	秋山　幸也 嶋本　習介	市内の動植物相調査を実施し、その中で明らかになった市内に生育・生息する絶滅危惧生物の保全、増殖事業を近隣大学等と連携しながら実施した。また、博物館周辺の樹林地(留保地)において大学等と協力して動物生態調査を実施した。研究成果の一部を研究報告第３４集等で報告した。
地質	河尻　清和	相模原市内、相模川・桂川流域及び関東平野西縁部の地形地質調査を実施した。調査・研究成果の一部は日本地質学会第１３２年学術大会、および、研究報告第３４集で報告した。相模野台地の微地形調査は相模原地質研究会と協働で実施した。富士相模川泥流については東京都立大学との共同研究を行った。
天文	里見　聡一 田子　智大	プラネタリウムのリニューアルに向けた投影システムの仕様調査や教育普及事業への利用検討を行った。 また、天文企画展「プラネタリウムの歴史」の開催にあたり、旧投影機器群の資料化及び調査を行った。

・検討会委員等の派遣

小田原市郷土文化館協議会委員	秋山　幸也
国土交通省河川水辺の国勢調査「宮ケ瀬ダム」アドバイザー	秋山　幸也
丹沢大山自然再生委員会　事業・調査部会長	秋山　幸也

わぉ！な生きものフォトコンテスト　特別審査員	秋山　幸也
環境省第５次レッドリスト・レッドデータブック　評価チェックシート作成者	嶋本　習介
日本昆虫学会第８５回大会運営委員	嶋本　習介
日本地質学会関東支部幹事	河尻　清和
日本地質学会代議員	河尻　清和
神奈川地学会幹事	河尻　清和
石器文化研究会代表幹事	長澤　有史

Ⅵ　市史関連事業

１　収集・整理事業

市史及び津久井町史の編さんに際し収集した資料の整理作業を行うとともに、次の市史等の編さんに向けた資料の収集を行った。また、整理された資料を市民やその他団体の利活用に協力した。

２　普及事業

資料の整理・保存及び普及活動を中心に行った。

（１）市史ミニ展示

※詳細は１４頁Ⅲ３（２）３・４、１５頁Ⅲ３（２）９参照

（２）市史・町史刊行物の販売

博物館、行政資料コーナーで販売した。

Ⅶ　博物館所管施設

１　尾崎咢堂記念館（緑区又野）

外観

展示室

尾崎咢堂記念館は、「議会政治の父」といわれた尾崎行雄（咢堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和３２年１月に、「尾崎咢堂うまれ地記念事業委員会」によって建設され開館した。

昭和３３年度に旧津久井町に寄贈され、平成２年に「ふるさと創生事業」にて増改築を行い、平成１８年３月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

平成２８年２月、協働事業提案制度事業により常設展示をリニューアルした。

（１）施設概要

ア　所　在　地	相模原市緑区又野６９１番地
イ　電 話 番 号	０４２－７８４－０６６０
ウ　延べ床面積	２２９．６２㎡
エ　建 物 構 造	木造１階建て
オ　休　館　日	月曜日（休日に当たる日を除く） 休日の翌日（休日・日曜・土曜に当たる日を除く） 年末年始（１２月２８日～１月３日）
カ　開 館 時 間	午前９時～午後４時３０分

（２）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩で作られた高さ３メートル、幅５０センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行ハみな善事之をへらす言行ハみな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、咢堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和４６年に現在の場所に移設された。

（３）咢堂桜・里帰り桜

尾崎行雄が東京市長在職中の明治４５年、米国ワシントンのポトマック公園に３，０００本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど４品種の桜苗木を「咢堂桜」と命名、その内の「普賢象（ふげんぞう）」１本が平成４年、記念館の庭に植樹された。

また、平成２４年には桜寄贈１００周年を記念し、新たな里帰り桜「ソメイヨシノ」１本が有志により植栽され、平成２９

年には「尾崎行雄を全国に発信する会」との協働事業における１００本の「里帰り桜」植樹事業のうち「関山」１本を敷地内に植樹した。

（４）企画展・講演会・展示

「尾崎行雄を全国に発信する会」へ委託し、次の事業を開催した。

	事業名	実施日	期間中の入館者数	内容・備考
1	【再掲】ミニ企画展「選挙と尾崎行雄（咢堂）」※1	１１/１日(土)～Ｒ８/２/６日(金)	２８８人	普通選挙法制定から、令和７年で１００周年を迎えるにあたり、選挙に対する尾崎行雄の考えや普選法成立までの動きを紹介
2	【再掲】近現代史講演会「シドモア女史とワシントンの桜」※2 会場：博物館	Ｒ８/２/１５(日)	１７人	尾崎が東京市長時代に実現した日米友好の証である桜寄贈において、重要な役割を担ったシドモア女史について講演 講師 梅本千晶さん(シドモア桜の会 横浜 代表理事)

※１　１４頁Ⅲ３（２）５の再掲　※２　１６頁Ⅲ４（１）８の再掲

２ 吉野宿ふじや（緑区吉野）

外観

２階展示室

吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩（諏訪藩）の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治２９年の大火で焼失し、現在の建物は明治３０年頃に建てられた。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成１８年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道２０号改良工事（歩道設置）に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成２５年７月２日にリニューアルオープンした。また、平成２６年４月１日には町屋遺構としての見地から市登録有形文化財に登録された。

平成２９年４月から土・日曜・祝日のみの開館としたが、企画展等の際には平日も開館する。

（１）施設概要

ア　住　　所　　相模原市緑区吉野２１４番地
イ　電話番号　　０４２－６８７－５０２２
ウ　延べ床面積　　３９２．５１㎡
エ　建物構造　　木造３階建て
オ　開館日　　日曜・土曜・休日（年末年始（１２月２８日～１月３日）を除く）
カ　開館時間　　午前１０時～午後４時

（２）企画展（１事業）

「ＮＰＯ法人ふじの里山くらぶ」へ委託し、企画展を開催した。

	事業名	実施日	来場者	内容・備考
1	「甲州道中おひな様」展	2/7(土) ～3/8(日)	３１５人	地元に伝わるおひな様を展示

３　入館者数一覧

（１）尾崎咢堂記念

	利用人数(人)	開館日数(日)	１日平均(人)
令和３年度	８１５	＊1　２５５	３．２
令和４年度	１，２４９	２９７	４．２
令和５年度	１，３８４	３０６	４．５
令和６年度	１，１５３	＊2　３０１	３．８
令和７年度	１，１９４	３０４	３．９

＊１　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和３年８月６日（金）～９月３０日（木）休館

＊２　令和６年台風第１０号のため、令和６年８月３０日（金）～９月１日（日）まで休館

（２）吉野宿ふじや

	利用人数(人)	開館日数(日)	１日平均(人)
令和３年度	１，３０５	＊1　９８	１３．３
令和４年度	１，３２９	１１６	１１．５
令和５年度	１，３４３	１２１	１１．１
令和６年度	１，３６８	＊2　１１８	１１．６
令和７年度	１，１２５	１２１	９．３

＊１　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和３年８月６日（金）～９月３０日（木）休館

＊２　令和６年台風第１０号のため、令和６年８月３１日（土）と９月１日（日）は休館

Ⅷ　企画展（特別展示）、プラネタリウム・全天周映画一覧

令和７年度　企画展・プラネタリウム・全天周映画一覧

<table>
<tr><th>月</th><th colspan="2">企画展</th><th colspan="2">プラネタリウム</th><th colspan="2">全天周映画</th></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="2"></td><td colspan="2" rowspan="3">今夜の星空解
4.1～6.29
※ミニプラネタリウム</td><td>宇宙ステーション（ISS）からの眺め
4.1～6.29
※HAYABUSA BACK TO THE EARTH 期間バージョン
6.8～6.15
※ミニプラネタリウム</td><td>プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型
4.1～6.29
※HAYABUSA BACK TO THE EARTH 期間バージョン
6.8～6.15
※ミニプラネタリウム</td></tr>
<tr><td>5</td><td colspan="2" rowspan="2">天文企画展「プラネタリウムの歴史」
4.15～6.29</td></tr>
<tr><td>6</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td colspan="2"></td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>8</td><td rowspan="3">開館 30 周年記念企画展「相模原市立博物館 30 年の歩みを未来へ」
7.12～9.28</td><td>第 10 回 わぉ！な生きものフォトコンテスト写真展
7.12～8.17</td><td colspan="2" rowspan="2">新たなる光～RE:UNIVERSE
※子ども ver も含む
7.17～9.30</td><td rowspan="9">すみっコぐらし ひろい宇宙とオーロラの光
7.19～3.31</td><td rowspan="9">MMX
火星衛星探査計画
7.17～3.31</td></tr>
<tr><td>9</td><td></td></tr>
<tr><td>10</td><td colspan="2"></td><td rowspan="7">星空テラス
10.1～3.31</td><td rowspan="7">リーベルタース 天文台だより～ミコとお月さまの魔法～
10.4～3.31</td></tr>
<tr><td>11</td><td colspan="2" rowspan="2">特別企画展「ポケモン天文台」
11.1～1.12</td></tr>
<tr><td>12</td></tr>
<tr><td>1</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="2">企画展「相模原のたからもの」
1.31～3.1</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※６月２９日（日）までのプラネタリウム・全天周映画はプラネタリウムリニューアル工事のためミニプラネタリウムで投影

Ⅸ　企画展（特別展示）ポスター一覧

天文企画展
「プラネタリウムの歴史」

開館３０周年記念企画展
「相模原市立博物館の歩みを未来へ」

第１０回わぉ！な生きもの
フォトコンテスト写真展

特別企画展
「ポケモン天文台」

企画展「相模原のたからもの」

X　博物館略年表

年　　月	事　　項
昭和５５年　４月	「キャンプ淵野辺留保地整備計画」に建設の検討が盛り込まれる
昭和５６年　４月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和５６年　６月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和５６年１０月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和５８年　２月	(仮称)相模原市立博物館基本構想策定
昭和５８年　６月	展示専門委員会の設置
昭和５９年　３月	博物館展示基本計画の策定
平成　２年１１月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定
平成　３年　４月	博物館建設事務所設置
平成　３年　５月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成　３年　７月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成　３年　８月	建築設計者の決定
	博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成　３年　９月	建築基本設計着手
平成　４年　１月	建設用地の取得
	展示プロポーザル提案図書の提出
平成　４年　２月	展示設計・施工候補者選考委員会設置
	展示設計・施工者の決定
平成　４年　５月	建設実施設計及び展示実施設計着手
	プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成　５年　６月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成　６年　８月	天体観測機器設置工事契約
平成　７年　３月	相模原市立博物館条例制定
	登録原簿への登録を受ける(記号番号　神奈川第３２号)
平成　７年　７月	博物館建設工事竣工
平成　７年１０月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
平成７年１１月２０日　開館	
平成　８年　１月	天体観測室と観測テラスで「星空観望会」を開始
	５/１９　入館者数１０万人を超える
平成　８年　５月	入館者１０万人達成記念式典

平成　８年１０月	平成８年度第４１回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞
平成　９年　４月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始
平成　９年　４月	隣接地に淵野辺公園第２駐車場(５０台収容)が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成　９年　５月	１９９７年度日本建築学会作品選奨受賞
平成　９年１０月	平成９年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成　９年１１月	平成９年度第３８回建築業協会賞受賞
平成１１年１１月	１１/２１　入館者数５０万人を超える
平成１２年　５月	公共建築賞優秀賞受賞
平成１６年　１月	１/１８　入館者数１００万人を超える
	入館者１００万人達成セレモニー
平成１７年　１月	企画展示として「学習資料展」を開始
平成１７年　４月	市立博物館シンボルマークを制定
平成１７年１０月	開館１０周年記念特別展「博物館１０年の歩み」を実施
平成１７年１１月	**相模原市立博物館開館１０周年**
平成２２年　４月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設(補助執行)
平成２２年　７月	小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを世界初公開
	以後、毎年ＪＡＸＡ連携企画展を開催
平成２３年　４月	天文展示室リニューアルオープン
平成２３年　５月	博物館周辺の動植物を観察するミニ観察会を開始(現在は「生きものミニサロン」として実施)
平成２３年　７月	市内小中学校の教材利用として博物館資料の「貸出しキット」事業の開始
平成２３年　８月	８/２８　入館者数２００万人を超える
	入館者２００万人達成セレモニー
平成２３年１１月	ボランティアや中高生の部活動の発表の場として「学びの収穫祭」を開始
平成２４年　１月	Twitterを開設(@scm_sagapon)
	「相模原市立博物館の職員ブログ」を開設
平成２４年　２月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が５万人を超える
平成２５年　４月	研究者らを招き月１回、講演やワークショップを行う「さがみはら宇宙の日」を開始(令和元年度まで)

平成２５年　７月	吉野宿ふじやリニューアルオープン
	小惑星イトカワの微粒子を世界初公開(光学顕微鏡による直接観覧)
平成２５年　８月	市民協働事業で博物館と尾崎咢堂記念館にWi-Fi環境導入(尾崎咢堂記念館のWi-Fiは令和３年３月まで)
平成２７年　３月	吉野宿ふじや常設展示リニューアル
	津久井郷土資料室を廃止
平成２７年　６月	６/２０ 入館者数２５０万人を超える
平成２７年１１月	**相模原市立博物館開館２０周年**
平成２８年　２月	尾崎咢堂記念館常設展示リニューアル
平成２８年　４月	プラネタリウムの操作等業務委託をＰＰＰ(Public Private Partnership)で選考した業者と契約
平成２９年　４月	吉野宿ふじや活性化事業を公募型プロポーザル方式で選考した団体と契約
平成３１年　３月	３/１９ 入館者数３００万人を超える
	来館者数３００万人達成記念事業実施
平成３１年　４月	市史編さん班廃止
令和　２年　９月	「ネットで楽しむ博物館(YouTube・相模原市立博物館公式チャンネル)」を開設
令和　２年１１月	**相模原市立博物館開館２５周年**
	相模原市立博物館開館２５周年記念ポストカード作成・販売開始
令和　３年　２月	博物館入口に「さがみん×はやツー君デザインマンホール蓋」を設置
３月	小惑星探査機「はやぶさ２」の帰還カプセルを世界初公開
７月	博物館キャラクター「おびのっち」が商標原簿に登録
１２月	小惑星探査機「はやぶさ２」の小惑星リュウグウサンプルを公開
令和　５年　２月	Instagram を開設(@sagamihara_city_museum)
３月	博物館内全館(一部を除く)にフリーWi-Fi を再整備し、スマートフォン等を活用した多言語対応の展示ガイドを導入
令和　５年１０月	市公共施設の子どもの個人利用無料化に伴い、市内在住または在学の小中学生と全ての未就学児のプラネタリウム観覧料を無料化
令和　６年３月	３/２３ 入館者数３５０万人を超える
令和　６年１２月	プラネタリウムのリニューアル工事が始まる
令和　７年７月	プラネタリウムリニューアルオープン
	プラネタリウムの年間パスポート発行開始

令和　７年１１月	**相模原市立博物館開館３０周年**
	博物館ホームページをリニューアル
令和　８年３月	「相模原市立博物館の資料収集方針」策定
	情報サービスコーナーを改修し、多目的スペースオープン

付録

○相模原市立博物館条例

平成７年３月２３日

条例第１３号

改正　平成１１年１２月２２日条例第５８号

平成２１年１２月２２日条例第３６号

平成２４年３月２７日条例第２１号

令和５年１月２３日条例第２号

令和５年３月２０日条例第４５号

令和６年１２月２０日条例第６９号

（趣旨）

第１条　この条例は、相模原市立博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第２条　郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和２６年法律第２８５号）第２条第１項に規定する博物館として、相模原市立博物館（以下「博物館」という。）を相模原市中央区高根３丁目１番１５号に設置する。

（一部改正〔平成２１年条例３６号〕）

（観覧料）

第３条　博物館を利用する者（以下「利用者」という。）は、プラネタリウム投影又は全天周映画を観覧しようとするとき（次条第１項に規定する定期券により観覧しようとするときを除く。）は、別表第１に定める観覧料を納付しなければならない。

２　利用者は、特別な企画の展示又は特別の催しが行われている場合において、当該展示に係る資料又は当該特別の催しを観覧しようとするときは、教育委員会がその都度定める観覧料を納付しなければならない。

３　前２項の観覧料は、前納とする。

（一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（定期券の交付等）

第４条　教育委員会は、利用者（教育委員会規則で定める者を除く。）が定期観覧に係る観覧料として

別表第２に定める観覧料を納付したときは、プラネタリウム投影及び全天周映画の定期観覧に係る観覧券(以下「定期券」という。)を交付するものとする。

２　定期券は、再交付しない。ただし、定期券を汚損等した場合において、当該定期券の記載内容を確認でき、かつ、これを回収することができるときは、この限りでない。

３　定期券を改変して使用したときその他教育委員会が不正利用の手段として使用したと認めるときは、当該定期券は無効とし、回収する。

（追加〔令和６年条例６９号〕）

（特別席の料金）

第５条　利用者は、プラネタリウム投影若しくは全天周映画又は特別の催しを観覧しようとする場合において、特別席を利用しようとするときは、観覧料とは別に、別表第３に定める料金を納付しなければならない。

２　前項の料金は、前納とする。

（追加〔令和６年条例６９号〕）

（観覧料の減免）

第６条　第３条第１項及び第２項並びに第４条第１項の規定にかかわらず、教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除することができる。

（一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（観覧料等の不還付）

第７条　既に納付された観覧料及び特別席の利用に係る料金(以下「観覧料等」という。)は、還付しない。ただし、教育委員会が、観覧料等を納付した者の責めによらない理由により観覧することができないと認めるときは、この限りでない。

（一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（利用の制限）

第８条　教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、その利用を制限し、又は中止させることができる。

（１）この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

（２）博物館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

（３）博物館の施設、設備、資料等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。

（４）前３号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があると認められるとき。

（一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（博物館資料の特別利用）

第９条　学術研究等のため、博物館資料（博物館に保管され、又は展示されている資料をいう。以下同じ。）の撮影、模写、模造その他の特別な利用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

（追加〔平成１１年条例５８号〕、一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（博物館資料の館外貸出し）

第１０条　次に掲げるものは、博物館資料の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができる。

（１）国立の博物館、博物館法第２条第１項に規定する博物館及び同法第３１条第２項に規定する指定施設

（２）学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１条に規定する学校

（３）社会教育法（昭和２４年法律第２０７号）第２１条に規定する公民館

（４）国立の図書館及び図書館法（昭和２５年法律第１１８号）第２条第１項に規定する図書館

（５）前各号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

２　館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会の承認を受けなければならない。

（追加〔平成１１年条例５８号〕、一部改正〔令和５年条例２号・６年６９号〕）

（特別利用等の条件）

第１１条　教育委員会は、博物館の管理上及び博物館資料の保全上必要と認める範囲内で、第９条又は前条第２項の承認に条件を付することができる。

（追加〔平成１１年条例５８号〕、一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（特別利用等の制限）

第１２条　教育委員会は、次に掲げる博物館資料については、第９条又は第１０条第２項の承認をしないものとする。

（１）保全上支障があると認めるもの

（２）寄託を受けたもので寄託者の承諾を得ていないもの

（３）著作権のあるもので著作権者の承諾を得ていないもの

（４）前３号に掲げるもののほか、教育委員会が適当でないと認めるもの

（追加〔平成１１年条例５８号〕、一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（入館の制限等）

第１３条　教育委員会は、博物館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

（追加〔平成１１年条例５８号〕、一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（販売行為等の禁止）

第１４条　何人も、博物館において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

（追加〔平成１１年条例５８号〕、一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（損害賠償）

第１５条　博物館の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（一部改正〔平成１１年条例５８号・令和６年６９号〕）

（博物館協議会の設置）

第１６条　博物館法第２３条第１項の規定に基づき、博物館に相模原市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（一部改正〔平成１１年条例５８号・２４年２１号・令和５年２号・６年６９号〕）

（定数）

第１７条　協議会の委員の定数は、１０人以内とする。

（追加〔平成２４年条例２１号〕、一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（委員）

第１８条　協議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

（１）学校教育の関係者

（２）社会教育の関係者

（３）家庭教育の向上に資する活動を行う者

（４）学識経験のある者

（５）市の住民

２　協議会の委員の任期は、２年とする。ただし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

３　協議会の委員は、再任されることができる。

（追加〔平成２４年条例２１号〕、一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（会長及び副会長）

第１９条　協議会に会長及び副会長１人を置く。

２　会長及び副会長は、委員の互選により定める。

３　会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（追加〔平成２４年条例２１号〕、一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（会議）

第２０条　協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

２　協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

３　協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（追加〔平成２４年条例２１号〕、一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（運営等）

第２１条　第１６条から前条までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

（追加〔平成２４年条例２１号〕、一部改正〔令和６年条例６９号〕）

（委任）

第２２条　この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

（一部改正〔平成１１年条例５８号・２４年２１号・令和６年６９号〕）

附　則

この条例は、公布の日から起算して９月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

（平成７年規則第３６号で平成７年１１月２０日から施行）

附　則（平成１１年１２月２２日条例第５８号）

この条例は、平成１２年４月１日から施行する。

附　則（平成２１年１２月２２日条例第３６号抄）

この条例は、平成２２年４月１日から施行する。

附　則（平成２４年３月２７日条例第２１号）

この条例は、平成２４年４月１日から施行する。

附　則（令和５年１月２３日条例第２号）

この条例は、令和５年４月１日から施行する。

附　則(令和５年３月２０日条例第４５号)

この条例は、令和５年１０月１日から施行する。

附　則(令和６年１２月２０日条例第６９号)

この条例は、公布の日から起算して８月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

(令和７年教委規則第１０号で令和７年７月８日から施行。ただし、相模原市立博物館条例(平成７年相模原市条例第１３号)第３条第１項の改正規定(「とき」の次に「(次条第１項に規定する定期券により観覧しようとするときを除く。)」を加える部分に限る。)、同条第２項の改正規定、同条例第５条の改正規定、同条例第３条の次に２条を加える改正規定(第４条第３項及び第５条に係る部分に限る。)及び同条例別表を別表第１とし、同表の次に２表を加える改正規定(別表第３に係る部分に限る。)は、同月１７日から施行)

別表第１(第３条関係)

(一部改正〔令和５年条例４５号・６年６９号〕)

区分		単位	観覧料	
			大人	小人
プラネタリウム投影	個人	１回につき	５００円	２００円
	団体(２０人以上)	１人１回につき	４００円	１６０円
全天周映画	個人	１回につき	５００円	２００円
	団体(２０人以上)	１人１回につき	４００円	１６０円

備考

１　小人とは、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者(以下「児童生徒等」という。)をいう。ただし、個人で観覧する１５歳に達する日以後の最初の３月３１日までの間にある者であって、市内に居住し、又は市内の学校教育法第１条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)若しくは特別支援学校(小学部及び中学部に限る。)に通学するもの(以下「市内の子ども」という。)を除く。

２　市内の子どもが個人で観覧する場合又は学齢に達しない者が観覧する場合の観覧料は、無料とする。

別表第２（第４条関係）

（追加〔令和６年条例６９号〕）

区分		単位	定期観覧に係る観覧料	
			大人	小人
プラネタリウム投影及び全天周映画	個人	１年につき	２，０００円	８００円

備考　小人とは、児童生徒等をいう。ただし、市内の子どもを除く。

別表第３（第５条関係）

（追加〔令和６年条例６９号〕）

区分	単位	料金
特別席（シングル）	１席１回につき	３００円
特別席（ダブル）	１席１回につき	６００円

○相模原市立博物館条例施行規則

平成７年９月２９日

教委規則第８号

改正　平成９年１月１６日教育委員会規則第２号

平成１１年３月３１日教育委員会規則第１０号

平成１２年３月３１日教育委員会規則第１８号

平成１４年１０月１日教育委員会規則第１９号

平成１５年３月１４日教育委員会規則第２号

平成１７年３月３１日教育委員会規則第３号

平成１７年７月２９日教育委員会規則第２０号

平成１９年３月３０日教育委員会規則第２９号

平成２１年４月１日教育委員会規則第７号

平成２４年３月３０日教育委員会規則第９号

平成２６年９月３０日教育委員会規則第２０号

平成２７年３月３０日教育委員会規則第１５号

平成２８年３月２８日教育委員会規則第１０号

平成３０年９月２８日教育委員会規則第１２号

令和元年６月２８日教育委員会規則第２号

令和２年１２月２８日教育委員会規則第３３号

令和５年３月２９日教育委員会規則第６号

令和６年７月３１日教育委員会規則第６号

令和７年５月１５日教育委員会規則第１１号

（趣旨）

第１条　この規則は、相模原市立博物館条例（平成７年相模原市条例第１３号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第２条　相模原市立博物館（以下「博物館」という。）の休館日は、次のとおりとする。

（１）月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）

（２）休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)

（３）前２号の規定にかかわらず、１２月２８日から翌年の１月３日までの日

（４）前３号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

２　前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

（一部改正〔平成２７年教委規則１５号〕）

（開館時間）

第３条　博物館の開館時間は、午前９時３０分から午後５時までとする。

２　前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

（休館日等の周知）

第４条　教育委員会は、第２条第１項第４号の規定により休館日を定め、若しくは同条第２項の規定により休館日を開館日とするとき又は前条第２項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を告示する等市民への周知を図るものとする。

（観覧券の交付）

第５条　教育委員会は、条例第３条第１項の観覧料を納付した者にプラネタリウム投影等観覧券を、同条第２項の観覧料を納付した者に特別展観覧券又は特別観覧券を交付するものとする。

（一部改正〔令和５年教委規則６号・７年１１号〕）

（定期券の交付をしない者）

第６条　条例第４条第１項の教育委員会規則で定める者は、次に掲げる者とする。

（１）条例別表第１備考１ただし書に規定する市内の子ども及び学齢に達しない者

（２）第９条第１項(第５号を除く。)の規定により観覧料の減額又は免除を受けることができる者

（追加〔令和７年教委規則１１号〕、一部改正〔令和７年教委規則１１号〕）

（定期券の交付手続等）

第７条　条例第４条第１項の規定により同項に規定する定期券(以下「定期券」という。)の交付を受けようとする者は、プラネタリウム定期券交付申請書を教育委員会に提出しなければならない。

２　条例第４条第２項ただし書の規定により定期券の再交付を受けようとする者は、プラネタリウム定期券再交付申請書に汚損等した定期券を添え、教育委員会に提出しなければならない。

３　定期券を使用して観覧しようとする者は、観覧の際、当該定期券を係員に提示しなければならない。

（追加〔令和７年教委規則１１号〕、一部改正〔令和７年教委規則１１号〕）

（プラネタリウム特別席利用券の交付）

第８条　教育委員会は、条例第５条第１項の料金を納付した者にプラネタリウム特別席利用券を交付するものとする。

（追加〔令和７年教委規則１１号〕）

（観覧料の減免）

第９条　条例第６条の規定による観覧料の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

（１）市内の学校教育法(昭和２２年法律第２６号)第１条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)及び特別支援学校(高等部を除く。)の児童・生徒(それぞれの引率者を含む。)が、教育課程に基づく教育活動により観覧しようとするとき。　１００パーセント

（２）市内の学校教育法第１条に規定する幼稚園、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成１８年法律第７７号)第２条第７項に規定する幼保連携型認定こども園若しくは児童福祉法(昭和２２年法律第１６４号)第３９条第１項に規定する保育所又はこれらに準ずる施設が行う教育活動等により幼児(その引率者を含む。)が観覧しようとするとき。　５０パーセント

（３）身体障害者福祉法(昭和２４年法律第２８３号)第１５条第４項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法第１２条第１項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和３５年法律第３７号)第１２条第１項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和２５年法律第１２３号)第４５条第２項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者が観覧しようとするとき。　１００パーセント

（４）相模原市医療費助成条例施行規則(昭和４９年相模原市規則第１７号)第１１条第１項第２号に規定するひとり親家庭等であることの証明書に記載されている者(これに準ずる市外在住の者を含む。)が観覧しようとするとき。　１００パーセント

（５）６５歳以上の者が観覧しようとするとき。　５０パーセント

２　前項の規定により観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、博物館観覧料減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前項第３号から第５号までに該当するときは、申請書の提出を省略することができる。

３　教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、観覧料を、減額し、又は

免除するときは博物館観覧料減免決定通知書により、減額せず、又は免除しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

（一部改正〔平成９年教委規則２号・１１年１０号・１５年２号・１７年３号・２０号・１９年２９号・２１年７号・２４年９号・２６年２０号・２７年１５号・２８年１０号・３０年１２号・令和２年３３号・６年６号・７年１１号〕）

（観覧料等の還付手続）

第１０条　条例第７条ただし書の規定により同条に規定する観覧料等の還付を受けようとする者は、その旨及び観覧することができない理由を記載した書面にプラネタリウム投影等観覧券、特別展観覧券、特別観覧券、定期券又はプラネタリウム特別席利用券を添え、教育委員会に提出しなければならない。

（一部改正〔令和７年教委規則１１号〕）

（特別利用の手続）

第１１条　条例第９条の規定により特別利用の承認を受けようとする者は、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

２　教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その特別利用を、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

（一部改正〔平成１２年教委規則１８号・１９年２９号・令和７年１１号〕）

（館外貸出しの手続）

第１２条　条例第１０条第２項の規定により館外貸出しの承認を受けようとするものは、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

２　教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その館外貸出しを、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

３　館外貸出しの期間は、３０日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、当該期間を延長することができる。

４　教育委員会は、必要があるときは、館外貸出しの期間中であっても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

（一部改正〔平成１２年教委規則１８号・２６年２０号・令和７年１１号〕）

（博物館資料の複写）

第１３条　博物館を利用する者（以下「利用者」という。）は、別に定めるところにより、博物館資料の複写をすることができる。ただし、技術上複写をすることが困難なものその他教育委員会が適当でないと認める博物館資料については、この限りでない。

（一部改正〔平成１２年教委規則１８号・令和７年１１号〕）

（販売行為等の許可手続）

第１４条　条例第１４条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとするものは、相模原市立博物館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

２　教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可するときは相模原市立博物館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

（追加〔令和５年教委規則６号〕、一部改正〔令和７年教委規則１１号〕）

（遵守事項）

第１５条　利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（１）許可なく動物（身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法（平成１４年法律第４９号）第２条第１項に規定する身体障害者補助犬（同法第１２条第１項に規定する表示をしたものに限る。）を除く。）又は危険若しくは不潔な物品を持ち込まないこと。

（２）博物館資料（第１２条第２項の承認を受けたものを除く。）又は博物館の器具等を博物館外に持ち出さないこと。

（３）指定された場所以外の場所で飲食しないこと。

（４）騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

（５）博物館の係員の指示に従うこと。

（一部改正〔平成１２年教委規則１８号・１４年１９号・令和元年２号・５年６号・７年１１号〕）

（損傷等の届出）

第１６条　博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失させた者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

（一部改正〔平成１２年教委規則１８号・令和５年６号・７年１１号〕）

（協議会の庶務）

第１７条　相模原市立博物館協議会（以下「協議会」という。）の庶務は、博物館で処理する。

（一部改正〔平成１２年教委規則１８号・２４年９号・令和５年６号・７年１１号〕）

（協議会会長への委任）

第１８条　前条に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

（一部改正〔平成１２年教委規則１８号・２４年９号・令和５年６号・７年１１号〕）

（様式）

第１９条　この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

（追加〔平成１９年教委規則２９号〕、一部改正〔平成２４年教委規則９号・２６年２０号・令和５年６号・７年１１号〕）

（委任）

第２０条　この規則に定めるもののほか、博物館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

（一部改正〔平成１２年教委規則１８号・１９年２９号・２４年９号・２７年１５号・令和５年６号・７年１１号〕）

附　則

この規則は、平成７年１１月２０日から施行する。

附　則（平成９年１月１６日教委規則第２号）

この規則は、平成９年４月１日から施行する。

附　則（平成１１年３月３１日教委規則第１０号）

この規則は、平成１１年４月１日から施行する。

附　則（平成１２年３月３１日教委規則第１８号）

この規則は、平成１２年４月１日から施行する。

附　則（平成１４年１０月１日教委規則第１９号）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成１５年３月１４日教委規則第２号）

この規則は、平成１５年４月１日から施行する。

附　則（平成１７年３月３１日教委規則第３号）

この規則は、平成１７年４月１日から施行する。

附　則（平成１７年７月２９日教委規則第２０号）

この規則は、平成１８年４月１日から施行し、同日以後に行う観覧料の減免について適用する。

附　則（平成１９年３月３０日教委規則第２９号）

この規則は、平成１９年４月１日から施行する。

附　則（平成２１年４月１日教委規則第７号）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成２４年３月３０日教委規則第９号）

この規則は、平成２４年４月１日から施行する。

附　則（平成２６年９月３０日教委規則第２０号）

この規則は、平成２６年１０月１日から施行する。

附　則（平成２７年３月３０日教委規則第１５号）

この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則（平成２８年３月２８日教委規則第１０号）

この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年９月２８日教委規則第１２号）

この規則は、平成３０年１０月１日から施行する。

附　則（令和元年６月２８日教委規則第２号）

この規則は、令和元年７月１日から施行する。

附　則（令和２年１２月２８日教委規則第３３号）

この規則は、令和３年１月１日から施行する。

附　則（令和５年３月２９日教委規則第６号）

この規則は、令和５年４月１日から施行する。

附　則（令和６年７月３１日教委規則第６号）

この規則は、令和６年８月１日から施行する。

附　則（令和７年５月１５日教委規則第１１号）

この規則は、令和７年７月８日から施行する。ただし、第２条及び第３条の規定は、同月１７日から施行する。

○相模原市立尾崎<ruby>咢<rt>がく</rt></ruby>堂記念館条例

平成１７年１２月２１日

条例第１６５号

改正　平成２１年１２月２２日条例第３６号

（趣旨）

第１条　この条例は、相模原市立尾崎<ruby>咢<rt>がく</rt></ruby>堂記念館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第２条　<ruby>咢<rt>がく</rt></ruby>堂尾崎行雄の生誕地の屋敷跡を保存し、ゆかりの文献、遺品その他の資料を展示するとともに、青少年の勉学の場とし、その健全な育成に寄与するため、相模原市立尾崎<ruby>咢<rt>がく</rt></ruby>堂記念館（以下「記念館」という。）を相模原市緑区又野６９１番地に設置する。

（一部改正〔平成２１年条例３６号〕）

（利用の承認）

第３条　記念館を利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。承認された事項の変更をしようとするときも、同様とする。

２　教育委員会は、記念館の管理上必要と認める範囲内で、前項の承認に条件を付することができる。

（利用の制限）

第４条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前条第１項の利用の承認をしないものとする。

（１）記念館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

（２）記念館の施設、器具等（以下「施設等」という。）を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。

（３）前２号に掲げるもののほか、記念館の管理上支障があると認められるとき。

（利用承認の取消し等）

第５条　教育委員会は、第３条の規定による利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは中止させることができる。この場合において、教育委員会はこれらの処分によって生じた損害の責めを負わない。

（１）利用者が第３条第２項の規定による利用の承認の条件に違反したとき。

（２）利用の申請に虚偽又は不正があったとき。

（３）前条各号のいずれかに該当するに至ったとき。

（４）災害その他やむを得ない理由により教育委員会が必要と認めたとき。

（５）前各号に掲げるもののほか、利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)が、この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

（権利譲渡等の禁止）

第６条　利用者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

（特別な設備等の承認）

第７条　利用者は、特別な設備を施し、又は特別な器具等を使用するときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

（入館の制限等）

第８条　教育委員会は、記念館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

（販売行為等の禁止）

第９条　何人も、記念館の敷地内において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、あらかじめ教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

（原状回復の義務）

第１０条　利用者は、記念館の利用を終了したとき、又は第５条の規定により利用の承認を取り消され、利用の制限を受け、若しくは利用を中止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

２　利用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会がこれを執行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

（損害賠償）

第１１条　記念館の施設等及び展示品等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（委任）

第１２条　この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附　則

（施行期日）

1　この条例は、平成１８年３月２０日から施行する。

（津久井町の編入に伴う経過措置）

2　この条例の施行の日前に旧津久井町立尾崎咢堂記念館の設置及び管理に関する条例（昭和５５年津久井町条例第１８号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附　則（平成２１年１２月２２日条例第３６号抄）

この条例は、平成２２年４月１日から施行する。

○相模原市立尾崎<ruby>咢<rt>がく</rt></ruby>堂記念館条例施行規則

平成１８年2月２４日

教育委員会規則第１０号

改正　平成２７年1月１３日教育委員会規則第1号

令和２年３月３１日教育委員会規則第１９号

（趣旨）

第１条　この規則は、相模原市立尾崎<ruby>咢<rt>がく</rt></ruby>堂記念館条例（平成１７年相模原市条例第１６５号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第２条　相模原市立尾崎咢堂記念館（以下「記念館」という。）の休館日は、次のとおりとする。

（１）月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）

（２）休日の翌日（休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。）

（３）前２号の規定にかかわらず、１２月２８日から翌年の１月３日までの日

（４）前３号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

２　前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

３　教育委員会は、第１項第４号の規定により休館日を定め、又は前項の規定により休館日を開館日とするときは、あらかじめその旨を告示等により市民に周知するものとする。

（一部改正〔平成２７年教委規則１号・令和２年１９号〕）

（利用できる時間及び受付時間）

第３条　記念館を利用できる時間は、午前９時から午後４時３０分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

２　記念館の利用に係る申請の受付時間は、開館日の午前９時から午後４時３０分までとする。

（利用承認申請手続）

第４条　条例第３条第１項の規定により承認を受けようとする者（承認された事項を変更しようとする者を除く。以下「利用申請者」という。）は、相模原市立尾崎咢堂記念館利用承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、資料室の観覧の申請にあっては、口頭で行うものとする。

２　前項の申請書は、利用しようとする日の２日前までに提出しなければならない。ただし、教育委

員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（一部改正〔平成２７年教委規則１号・令和２年１９号〕）

（利用の承認等）

第５条　教育委員会は、前条第１項の規定による申請書の提出があった場合において、その利用を、承認するときは相模原市立尾崎咢堂記念館利用承認通知書（以下「利用承認通知書」という。）により、承認しないときはその旨を利用申請者に通知するものとする。ただし、前条第１項ただし書の規定により口頭でなされた申請に対する承認又は承認しない旨の通知は、口頭で行うものとする。

２　前項本文の規定による利用の承認は、申請の順序に従って行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、公用又は公共のため、教育委員会が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

３　利用承認通知書により利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、利用の際、利用承認通知書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

（一部改正〔平成２７年教委規則１号・令和２年１９号〕）

（利用の取消し及び承認事項変更の手続）

第６条　利用者は、記念館の利用の取消し又は承認された事項の変更をしようとするときは、相模原市立尾崎咢堂記念館利用承認取消（変更）申請書を教育委員会に提出しなければならない。

２　教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、利用の取消し又は承認事項の変更を、承認するときは相模原市立尾崎咢堂記念館利用承認取消（変更）決定通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

（一部改正〔平成２７年教委規則１号・令和２年１９号〕）

（特別な設備等の承認手続）

第７条　条例第７条の規定により特別な設備等の承認を受けようとする者は、相模原市立尾崎咢堂記念館特別設備等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

２　教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その特別な設備等を、承認するときは相模原市立尾崎咢堂記念館特別設備等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

（一部改正〔平成２７年教委規則１号・令和２年１９号〕）

（販売行為等の許可手続）

第８条　条例第９条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとする者は、相模原市立尾崎咢堂記念館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

２　教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可するときは相模原市立尾崎咢堂記念館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

（一部改正〔平成２７年教委規則１号・令和２年１９号〕）

（遵守事項）

第９条　利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（１）承認された以外の施設、器具等を利用しないこと。

（２）許可なく建物等に張り紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。

（３）許可なく火気を使用しないこと。

（４）許可なく記念館の器具等を所定の保管場所以外へ移動させないこと。

（５）許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成１４年法律第４９号)第２条第１項に規定する身体障害者補助犬(同法第１２条第１項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。

（６）許可なく所定の場所以外の場所で飲食しないこと。

（７）喫煙をしないこと。

（８）騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

（９）その他係員の指示に従うこと。

（一部改正〔平成２７年教委規則１号・令和２年１９号〕）

（職務上の立入り）

第１０条　教育委員会は、記念館の管理上必要と認めたときは、係員を利用の承認をしている施設に立ち入らせることができる。この場合において、利用者は、当該係員の立入りを拒むことはできない。

（損傷等の届出）

第１１条　記念館の施設、器具等を損傷し、又は滅失した者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

（利用後の点検）

第１２条　利用者は、記念館の利用を終了したときは、直ちに係員にその旨を告げ、点検を受けなければならない。

（様式）

第１３条　この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

（追加〔平成２７年教委規則１号〕）

（委任）

第１４条　この規則に定めるもののほか、記念館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

（一部改正〔平成２７年教委規則１号〕）

附　則

１　この規則は、平成１８年３月２０日から施行する。

２　この規則の施行の際現に旧津久井町立尾崎咢堂記念館の設置及び管理に関する条例施行規則（昭和５５年津久井町教育委員会規則第３号）の規定により定められた様式の用紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附　則（平成２７年１月１３日教委規則第１号）

この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則（令和２年３月３１日教委規則第１９号）

この規則は、令和２年４月１日から施行する。

○相模原市吉野宿ふじや管理規程

平成２８年４月１日

教育委員会告示第１２号

改正　平成２９年４月１日教育委員会告示第５号

令和２年３月３１日教育委員会告示第１４号

（趣旨）

第１条　この告示は、相模原市緑区吉野２１４番地に所在する吉野宿ふじやの適正な保存及び活用を図るため、その管理について必要な事項を定めるものとする。

（観覧日）

第２条　吉野宿ふじやの観覧ができる日（以下「観覧日」という。）は、日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日とする。ただし、次に掲げる日を除く。

（１）１２月２８日から翌年の１月３日までの日

（２）前号に掲げる日のほか、教育委員会が定める日

２　前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、観覧ができない日を観覧日とすることができる。

（一部改正〔平成２９年教委告示５号〕）

（団体利用の特例）

第３条　前条に規定する観覧日のほか、１０人以上の団体から観覧の申込みがあった場合で教育委員会が認めたときは、観覧ができない日であっても観覧させることができる。

（追加〔平成２９年教委告示５号〕）

（観覧ができる時間）

第４条　吉野宿ふじやの観覧ができる時間は、午前１０時から午後４時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

（一部改正〔平成２９年教委告示５号〕）

（観覧ができない日等の周知）

第５条　教育委員会は、第２条第１項第２号の規定により観覧ができない日を定め、若しくは同条第２項の規定により観覧ができない日を観覧日とするとき又は前条ただし書の規定により観覧ができる時間を変更するときは、あらかじめその旨を市民に周知するものとする。

（一部改正〔平成２９年教委告示５号〕）

（観覧に係る料金）

第６条　吉野宿ふじやの観覧に係る料金は、無料とする。

（一部改正〔平成２９年教委告示５号〕）

（観覧の制限）

第７条　教育委員会は、吉野宿ふじやの管理上適当でないと認められる者があるときは、その観覧を制限することができる。

（一部改正〔平成２９年教委告示５号〕）

（遵守事項）

第８条　吉野宿ふじやを観覧する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（１）施設、資料等を損傷し、又は汚損しないこと。

（２）許可なく火気を使用しないこと。

（３）許可なく飲食しないこと。

（４）喫煙をしないこと。

（５）許可なく物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしないこと。

（６）許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物（身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法（平成１４年法律第４９号）第２条第１項に規定する身体障害者補助犬（同法第１２条第１項に規定する表示をしたものに限る。）を除く。）を持ち込まないこと。

（７）騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

（８）その他係員の指示に従うこと。

（一部改正〔平成２９年教委告示５号・令和２年１４号〕）

（委任）

第９条　この告示に定めるもののほか、吉野宿ふじやの管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

（一部改正〔平成２９年教委告示５号〕）

附　則

この告示は、公表の日から施行する。

附　則（平成２９年４月１日教委告示第５号）

この告示は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則（令和２年３月３１日教委告示第１４号）

この告示は、令和２年４月１日から施行する。

発行日　令和８年４月１日
相模原市立博物館
住　所　〒252-0221 相模原市中央区高根３－１－１５
ＴＥＬ　０４２－７５０－８０３０
ＦＡＸ　０４２－７５０－８０６１
E-mail　hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
ＵＲＬ　https://sagamiharacitymuseum.jp/